

ことしの

上川町の予算



平成27年度
上川町予算説明書

はじめに

私は、町長に就任して以来、町民の皆さんや議員各位に支えられ、町政の執行に当たってまいりましたが、2期目の最終年度となることから、社会の変化に対応しつつ、直面する課題を乗り越えるため、全力で町政運営を担ってまいります。

我が国の経済を見ますと、「アベノミクス」効果で消費増税後の落ち込みから持ち直し、景気回復傾向にあると言われておりますが、未だ実感がない状況にあります。

道内においては、過疎化・少子高齢化が進行するなか、逆に回復の兆しの見えない経済情勢により地域産業の衰退、地域間格差拡大など、一段と厳しい現状にあると思われま

す。このようななか、政府は、地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、地方が新たな活力を生み出していく「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を打ち出し、地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策の方針が示されたところであります。

一方、地方公共団体には、国と地方が一体となり中長期的視点に立って取り組むため地方版総合戦略の策定が求められております。

このような時こそ、地方自治体として、将来に持続可能で健全な行財政基盤を構築することを基本として、地道な活動を積み重ねながら積極的に町民とともに考え、町民との協働による町づくり、小さくても「夢・希望・誇り」に満ちた上川を目指して全力を尽くしてまいります。

国の平成27年度の地方財政計画の状況ですが、地方に交付される地方交付税の総額については、前年度に引き続き下回るものの、法定率の見直しや地方創生のための財源などを上乗せし、一般財源総額については、平成26年度の水準を相当程度上回る額を確保するとされております。

また、平成26年度地方創生関係補正予算と一体的に編成したものと位置付けし、経済再生・デフレ脱却と財政健全化の両立を目指すとしてされております。

平成27年度予算編成にあたっては、地方財政計画を基調に財政健全化指標を堅持しつつ、上川町まちづくり基本条例の実践と第9次総合計画を基本とし推進してまいります。

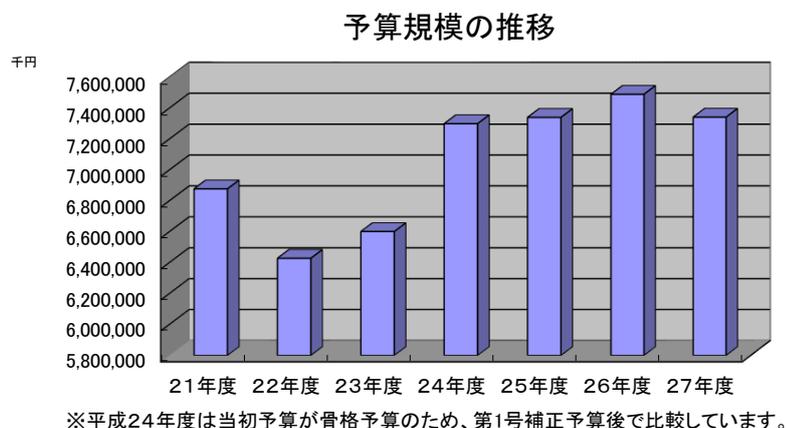
平成27年3月

上川町長 佐藤 芳治

平成27年度上川町予算

平成27年度の予算の概要についてお知らせをします。

上川町の平成27年度の予算額は、一般会計予算は、48億7,800万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」を合わせ、73億4,179万8千円（前年度予算比較 1億4,826万7千円、1.98%の減）となりました。



平成27年度上川町予算総括表

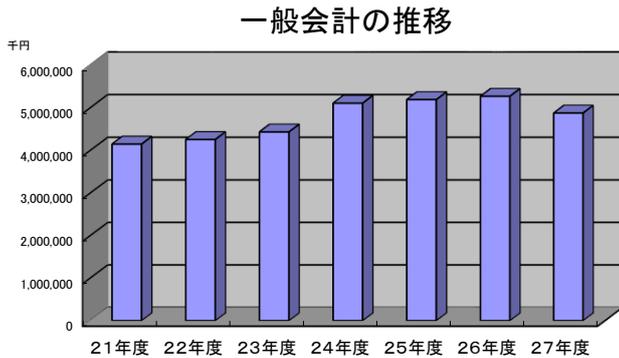
(単位：千円)

会 計 名	平成27年度予算額	平成26年度予算額	比 較
一般会計	4,878,000	5,271,000	△ 393,000
特別会計合計	2,203,089	2,004,790	198,299
国民健康保険事業特別会計	583,895	521,814	62,081
後期高齢者医療事業特別会計	64,083	70,639	△ 6,556
介護保険事業特別会計	526,926	519,716	7,210
町立診療所事業特別会計	374,337	365,688	8,649
介護老人保健施設事業特別会計	179,981	174,260	5,721
公共下水道事業特別会計	473,867	352,673	121,194
企業会計合計			
簡易水道事業会計	260,709	214,275	46,434
合 計	7,341,798	7,490,065	△ 148,267

一般会計予算の特徴

一般会計予算の総額は48億7,800万円となり、前年度予算に比べ3億9,300万円、7.46%の減となりました。昨年行われた総合体育館耐震改修工事や消防救急デジタル化整備事業などが完了したことが要因となっています。

そのほかに今年度の主な事業として、郷土資料室整備事業、栄町パークゴルフ場整備事業、旭ヶ丘地区活性化事業、北1条線をはじめとした道路整備事業、公園施設改築事業、中学校トイレ改修事業などを実施します。しかし、各公共施設の老朽化等により、施設改修費等の支出も増えてきていることから、「行政改革大綱推進計画」に留意し、財政運営の安定化のため、人件費、物件費の経費削減を行い、効率的な予算の執行に努めていきます。



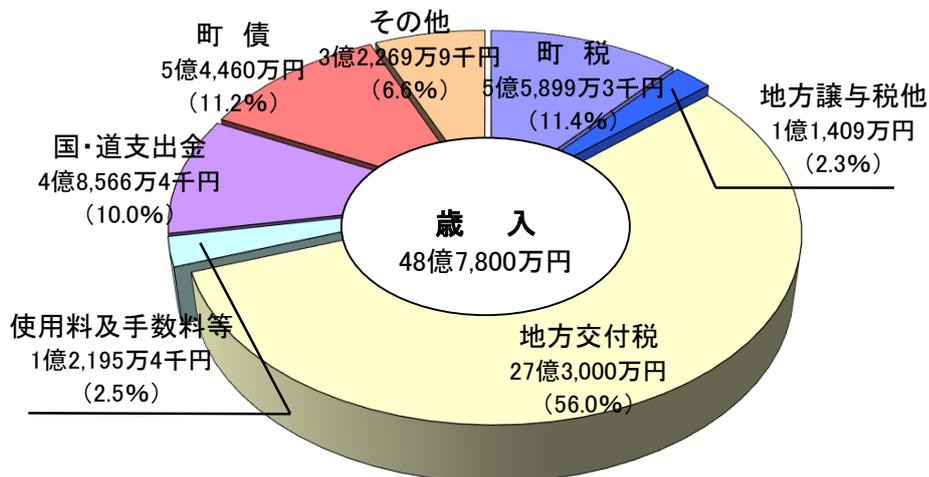
※平成24年度は当初予算が骨格予算のため、第1号補正予算後と比較しています。

一般会計とは

通常、上川町の予算というと、この一般会計のことを言います。一般会計とは、町の行政サービスの基本的な経費を計上している会計で、福祉や教育、道路の整備、産業の振興などさまざまな分野の仕事を行うための会計です。主な収入は、町税や国、道の支出金のほか地方交付税などです。

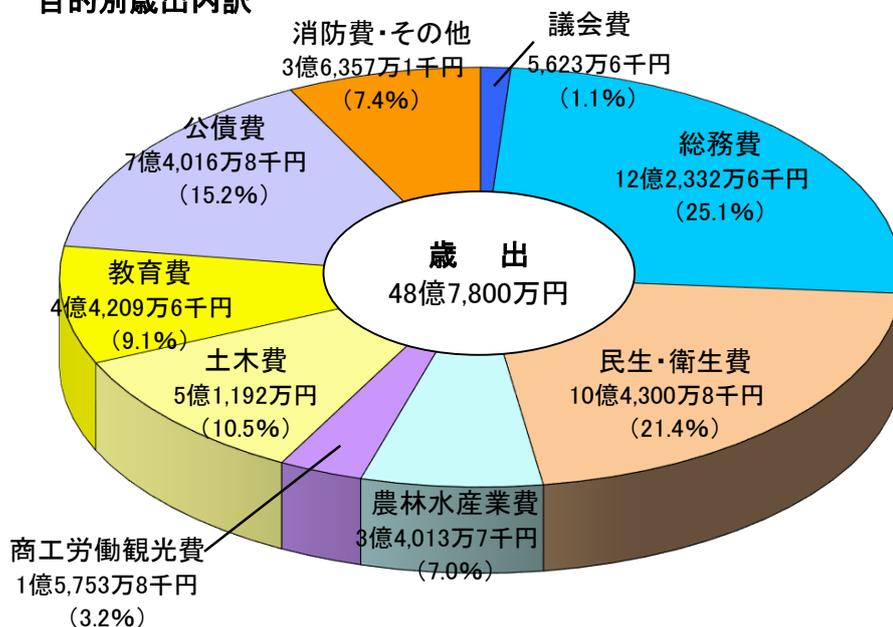
歳入では、町税では、町民税は個人、法人併せて前年度予算比較で1.4%の増額、固定資産税は前年度予算比較で6.6%の減、入湯税が2.9%の減額を見込み全体では前年度予算比較で3.8%の減となっています。地方交付税は、国の地方財政計画などにより前年度予算比較4.2%減を見込んでいます。国・道支出金は14.2%の減、町債（臨時財政対策債除く。）は、総合体育館耐震改修等事業債や消防救急デジタル化整備事業債などの減により31.8%減額となっています。また、事業の実施により不足する財源については、公共施設整備基金等からの繰入れにより、事業の実施を図ります。

歳入内訳

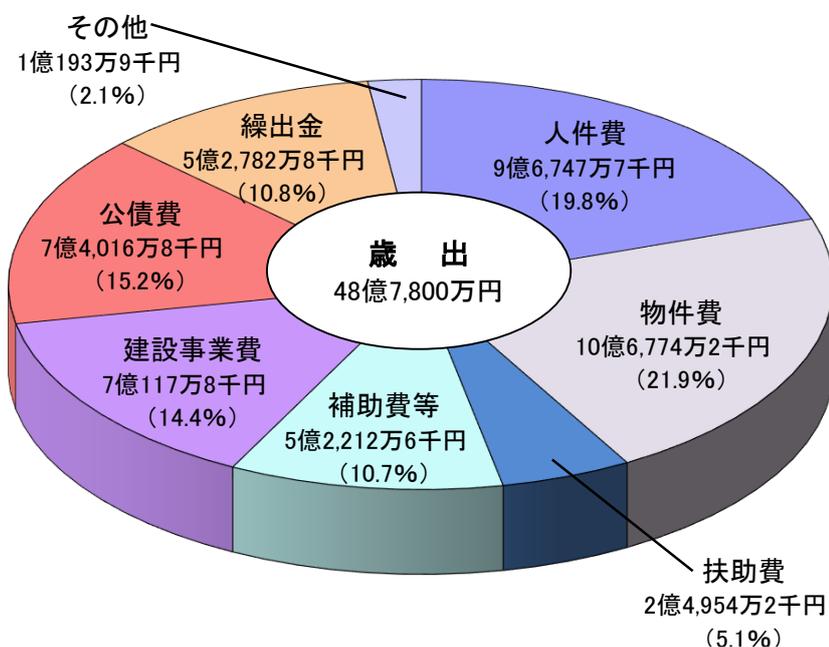


歳出では、人件費は退職採用などにより1.09%の減、物件費は臨時職員賃金、燃料等需用費、消防事務処理委託、備品購入などで0.15%の増、扶助費は、臨時福祉給付金の減などにより6.09%の減、建設事業費は総合体育館耐震改修の減などにより38.85%の減、補助費は2.73%の増、公債費は0.61%の減、繰出金では下水道会計繰出金等で3.58%の増となっています。

目的別歳出内訳

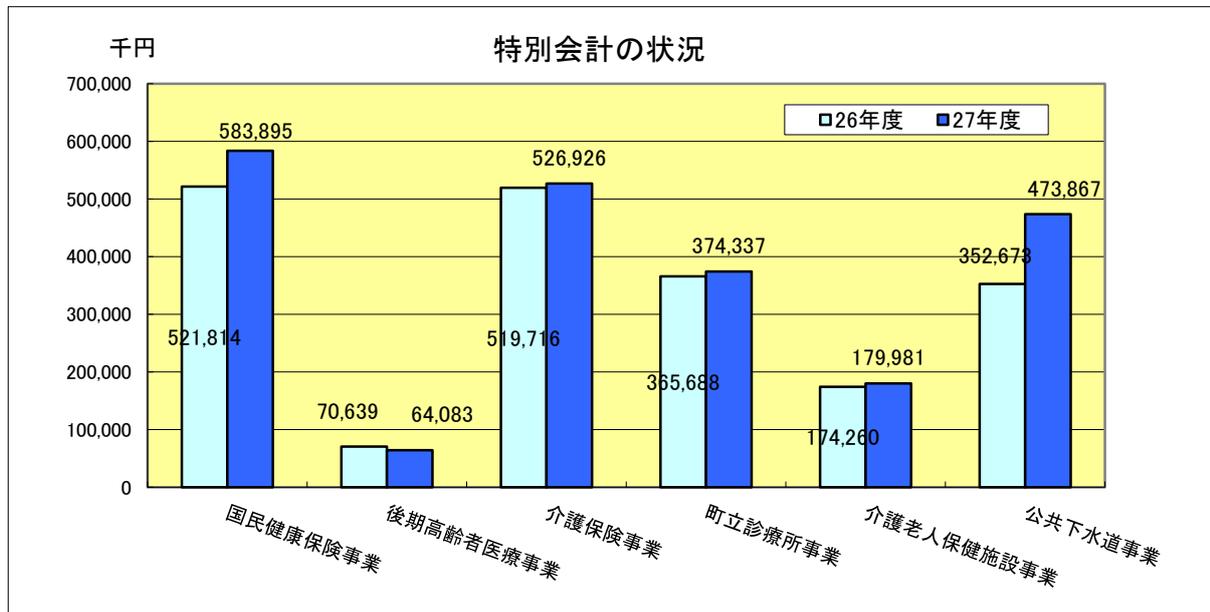


性質別歳出内訳



特別会計予算の特徴

特別会計の予算総額は22億308万9千円で前年度予算額に比べ、1億9,829万9千円、9.9%の増額となりました。前年度予算比では国民健康保険事業(11.9%)、後期高齢者医療事業(△9.28%) 介護保健事業(1.39%)、国民健康保険上川町立診療所事業(2.37%)、介護老人保健施設事業(3.28%)、公共下水道事業(34.36%)となっています。



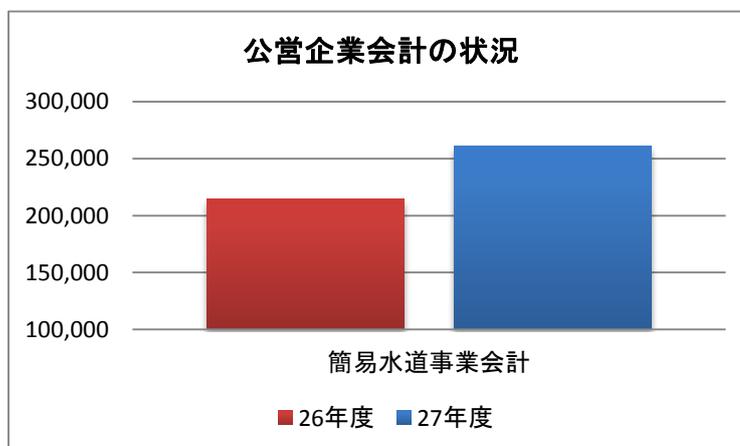
特別会計とは

特別会計とは、特定の目的のための会計で、国民健康保険税などの特定の収入があり、一般会計とは区分し、収入・支出を処理する会計です。

公営企業会計予算の特徴

上川町の公営企業会計は、本年度より簡易水道事業会計になりました。

簡易水道事業会計の予算は、2億6,070万9千円で前年度当初予算額と比べ、4,643万4千円の増額となりました。



企業会計とは

企業会計とは、主にその事業の収益で経費を賄って運営している事業の会計をいいます。

積立金現在高（一般会計）

平成26年度末の積立金の現在高見込は、13億9,840万9千円で、平成27年度末の見込額は、各目的基金の一般会計への繰入などの結果、12億1,446万7千円で、平成26年度末から1億8,394万2千円の減額となる見込みです。

(単位：円)

基金名	平成27年度末見込額	平成26年度末見込額	比較	
財政調整基金	461,974,232	461,722,465	251,767	
減債基金	302,669,706	392,399,955	△ 89,730,249	
その他特定目的基金	ふるさと創生基金	6,527,854	6,526,283	1,571
	地域福祉基金	9,525,762	21,672,671	△ 12,146,909
	公共施設整備基金	342,961,957	422,870,158	△ 79,908,201
	ふるさと応援基金	19,976,932	22,391,932	△ 2,415,000
	森林環境整備基金	40,150,619	40,149,619	1,000
	その他	30,679,894	30,675,534	4,360
計	1,214,466,956	1,398,408,617	△ 183,941,661	

※財政調整基金～予期しない収入の減少や不時の歳出増加などに備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うために、財源の余裕のある年度に積み立てるお金です。

※減債基金～公債費の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられているものです。

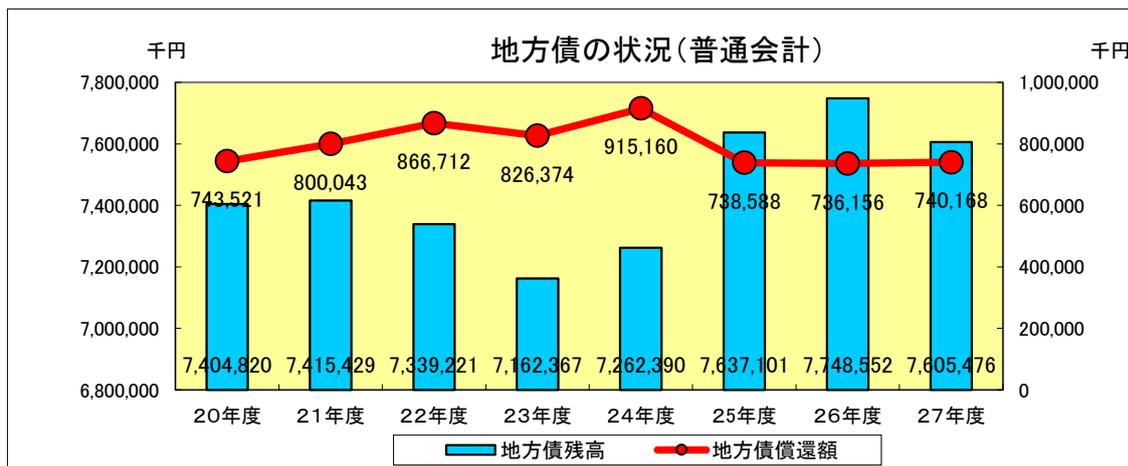
※その他特定目的基金～特定の目的のため資金を積み立てるものです。

地方債現在高の状況

自治体の予算では、その年度に使うお金は、その年度の収入で賄うことを基本としていますが、その年度の収入では多額の費用がかかる公共事業などを行うことがむずかしくなりますので、自治体でも必要な資金を借り入れることができる制度が設けられています。この制度が地方債です。道路や学校などの施設整備は、その恩恵を現在の住民ばかりでなく、世代を超えて長く受ける施設です。世代間の負担を公平にするという意味でも、地方債の発行による資金確保を行っています。

平成26年度末の地方債の現在高見込は、全ての会計をあわせて99億4,702万4千円で、平成27年度末の見込額は、98億6,164万9千円で、平成26年度末より8,537万5千円の減額となる見込みです。

基金名	平成27年度末見込額	平成26年度末見込額	比較
一般会計	7,605,476	7,748,552	△ 143,076
町立診療所事業特別会計	24,899	35,750	△ 10,851
公共下水道事業特別会計	1,832,118	1,829,905	2,213
簡易水道事業会計	399,156	332,817	66,339
計	9,861,649	9,947,024	△ 85,375



事業別の予算説明

平成27年度は、「第9次上川町総合計画」の後期計画3年目となります。「第9次上川町総合計画」の基本理念「一人ひとりが主役のまちづくり」、「心の豊かさを追求するまちづくり」、「広域的な視野に立ったまちづくり」に基づき、『自然と調和した未来“小さくても「夢・希望・誇り」に満ちた上川」』をめざしたまちづくりを推進していきます。「第9次上川町総合計画」の6つのまちづくり大綱の区分により一般会計の事業内容をご紹介します。

説明書の見方

「第9次上川町総合計画」のまちづくり大綱
 「第9次上川町総合計画」の基本目
 27年度予算額
 前年度予算

1. 健やかで心ふれあうまちづくり

(1) 保健対策の充実

● 予防接種事業

事業名 保健福祉課健康増進グループ 621万円 (2716円) ○

感染症の予防や流行を防ぐため、BCG、インフルエンザ、風疹・麻疹、4種混合(破傷風、百日咳、ジフテリア、ポリオ)、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水ぼうそうの予防接種に対する補助を行います。今年度から、高齢者肺炎球菌の接種に対しても助成を行います。

事業内容

前年度予算との比較

事業に係る財源の内訳

財源内訳	
インフルエンザ予防接種種国保会計負担金	20万円
後期会計肺炎球菌予防接種負担金	54万円
すこやか推進事業補助金	25万円
町の一般財源	522万円

※ 前年度予算との比較については、○=前年度より増額、◇=前年度同額、▲=前年度より減額、☆=新規事業
▼=事業廃止です。

1 健やかで心ふれあうまちづくり 875,929千円 (826,859千円) ○

本町に暮らす人々の健康や、生涯を通じた福祉支援体制を確保し、だれもが安心して、やすらぎのある生活を送れることが、住み良いまちづくりの条件であります。

日々の生活を通じた健康づくり、生きがいつくりを支援する一方で、保健・医療・福祉サービスの充実に努め、良質で均一なサービス提供体制の向上を図り、一人ひとりが思いやりを持って、互いにささえあうまちづくりを進めてまいります。

(1) 保健対策の充実 26,459千円 (32,140千円) ▲

町民が生涯にわたり心身ともに健康で安心して生活を送っていくためには、一人ひとりが自らの健康管理に関心を持ち、意識することが重要です。

本年度も「健康かみかわ21(第2次)」計画に基づき、子どもから成人・高齢者まで全ての町民を対象に、健康施策を行ってまいります。

生活習慣病予防については、特定健診、がん検診などの個人負担の軽減を引き続き行い、年2回の集団検診や町内外の医療機関でも受診できる体制を維持し、検査結果をもとにした保健指導の実施に努めてまいります。このほか、健康相談や健康教育、訪問指導、栄養指導など町民の健康づくり事業の推進に取り組んでまいります。「みらい健診」を引き続き実施し、学校医、小中学校との連携を図り、小児期からの生活習慣病予防に積極的に取り組んでまいります。また、母子保健については、妊婦健診の費用助成、妊産婦・乳幼児などの健診や相談事業を行い、母親と子どもの健康の維持に努めてまいります。予防接種事業については、定期接種となった水痘、高齢者の肺炎球菌感染症をはじめとする各種予防接種の周知や費用の助成を行い、病気の予防とまん延防止を図ってまいります。

● 福祉会館管理経費 9,082千円 (15,349千円) ▲

福祉会館(保健センター)の燃料費や施設管理委託などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
道からの補助金	50千円
福祉会館使用料	15千円
町の一般財源	9,017千円

●予防接種事業

保健福祉課健康増進グループ

6,037千円

(5,387千円) ○

感染症の予防や流行を防ぐため、BCG、インフルエンザ、風疹・麻疹、4種混合（破傷風、百日咳、ジフテリア、ポリオ）、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水ぼうそう、高齢者肺炎球菌の予防接種に対する補助を行います。

財源内訳	
インフルエンザ予防接種国保会計負担金	220千円
後期会計肺炎球菌予防接種負担金	124千円
すこやか推進事業補助金	250千円
町の一般財源	5,443千円



●各種がん検診事業

保健福祉課健康増進グループ

4,715千円

(5,130千円) ▲

がんの早期発見と早期治療ため胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳房がん、卵巣や前立腺がんの検診を行う事業です。本年度より本人負担額を軽減し、受診率の向上を図ります。

財源内訳	
国からの補助金	50千円
道からの補助金	100千円
町の一般財源	4,565千円

●妊婦健診

保健福祉課健康増進グループ

1,701千円

(1,678千円) ○

母胎と胎児の健康を維持するため、妊婦健診分（14回）の助成を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	1,701千円



●その他保健対策事業

その他健康診査	保健福祉課健康増進グループ	355千円	(0千円)	☆
乳幼児健診事業	保健福祉課健康増進グループ	388千円	(617千円)	▲
健康検診事業	保健福祉課健康増進グループ	309千円	(452千円)	▲
肝炎ウイルス検査事業	保健福祉課健康増進グループ	238千円	(247千円)	▲
エキノコックス血清検査事業	保健福祉課健康増進グループ	0千円	(64千円)	▼
保健事業関係経費	保健福祉課健康増進グループ	3,317千円	(3,081千円)	○
みらい検診事業	保健福祉課健康増進グループ	317千円	(135千円)	○

(2) 医療及び介護施設の充実

230,000千円

(223,000千円) ○

医療及び介護サービスの安定的な提供と経営の健全化を図るため、北海道家庭医療学センターと連携し、町民の「かかりつけ医」、「介護施設」としての役割を担うとともに、持続可能な事業運営に努めてまいります。

本年度は、医師が4名体制となりますので、医療サービスでは、効率的な診療体制の整備、外来待ち時間の改善、訪問診療の充実など、介護サービスでは、利用者本位の入所・通所サービスの提供、リハビリサービスの充実などを重点的に取り組みながら、保健・介護関係者との連携を深め、住民サービスの向上を図るとともに、地域に根ざした医療及び介護環境の充実に努めてまいります。

●国民健康保険町立診療所特別会計繰出金

上川医療センター

174,000千円

170,000千円 ○

町立診療所を運営していくための町からの繰出金です。ことしの町立診療所事業では、低床ベッド、高齢者用機能向上機器などを整備していきます。

財源内訳	
道からの補助金	18,200千円
町の一般財源	155,800千円

●介護老人保健施設事業特別会計繰出金 上川医療センター 56,000千円 (53,000千円) ○

町立診療所に併設している介護老人福祉施設運営のための町からの繰出金です。

財源内訳	
道からの補助金	7,800千円
町の一般財源	48,200千円

(3)地域福祉の充実 35,548千円 (52,592千円) ▲

加速する高齢化により、家庭や社会を取り巻く環境が大きく変化するなかで、地域福祉に対するニーズの多様化に伴い、地域社会における相互扶助の充実と生活基盤の確立が強く求められています。地域で幅広く実践活動を行っております社会福祉協議会や民生委員児童委員、介護福祉事業者との連携を図りながら、各種支援やサービスの提供に努めてまいります。社会福祉協議会が中心となって進めている「上川町地域福祉実践計画」策定の支援を行い、住民ニーズをもとに本町にあった福祉施策の構築を図ってまいります。社会福祉センター、サロン事業などの機能を有する新たな福祉施設の建設に向けた基本設計に着手いたします。また、本年度は道の委託を受け、人権啓発活動を進めてまいります。

●社会福祉協議会運営費事業 保健福祉課介護福祉グループ 14,276千円 (13,160千円) ○

安心して暮らせるまちづくりのため、地域に根ざした福祉活動を推進する社会福祉協議会に対し補助を行う事業です。居宅サービス事業者、居宅介護支援事業者として地域福祉サービスの一層の充実を図るための拠点として運営されています。

財源内訳	
地域福祉基金	8,400千円
町の一般財源	5,876千円

●福祉灯油助成事業 保健福祉課介護福祉グループ 4,515千円 (3,716千円) ○

冬期間の生活に影響を及ぼす灯油価格の変動が、高齢者や障害者などの低所得世帯の家計を圧迫する状況になっていることから、その経済的負担を軽減するため、灯油購入に係る費用の一部(1000分)を助成する事業です。

財源内訳	
道からの補助金	500千円
町の一般財源	4,015千円

●民生委員児童委員協議会活動事業 保健福祉課介護福祉グループ 2,360千円 (2,360千円) ◇

地域の身近な相談員として活動をしている民生委員・児童委員の研修活動を支援するため、協議会に対し交付金を交付する事業です。

財源内訳	
道の負担金	1,544千円
町の一般財源	816千円

●いきいき福祉・健康施設整備事業 保健福祉課介護福祉グループ 3,000千円 (0千円) ☆

ふれあいセンター老朽化に伴う建て替え、高齢者サロン事業及び高齢者住宅、子ども子育て事業の実施も含む福祉関連複合施設の建設により、福祉エリアの整備を実施し、町民の地域福祉と健康増進につなげ、安心して住み続けられるまちづくりの核施設として整備するための基本設計委託事業です。

財源内訳	
町の一般財源	3,000千円

●まちなかサロン事業

保健福祉課介護福祉グループ

792千円

(1,555千円) ▲

高齢者や障がい児・者、子育て中の方が、生きがい活動と元気に暮らすきっかけづくりを見つけ、地域の人のつながりを深める自主活動の場として活用する事業です。まちなかに交流の場をもうけることで住民の地域への関心を深め、近隣での助け合いを育みます。

財源内訳	
町の一般財源	792千円

●人権啓発活動地方委託事業

保健福祉課介護福祉グループ

1,003千円

(0千円) ☆

人権尊重思想の普及高揚を図る目的で、法務省が人権啓発活動地方委託事業として道に委託し、道が本町に市町村地域事業として再委託により実施するものです。

財源内訳	
道の負担金	1,000千円
町の一般財源	3千円

●その他地域福祉事業

民間在宅福祉支援事業	保健福祉課介護福祉グループ	600千円	(600千円)	◇
社会福祉総務管理経費	保健福祉課介護福祉グループ	2,687千円	(611千円)	○
戦没者慰霊追悼式事業	保健福祉課介護福祉グループ	60千円	(60千円)	◇
遺族会運営費事業	保健福祉課介護福祉グループ	30千円	(30千円)	◇
保護司会上川支部運営事業	保健福祉課介護福祉グループ	90千円	(90千円)	◇
社会保障・税番号制度システム整備事業	保健福祉課介護福祉グループ他	6,135千円	(0千円)	☆
臨時福祉給付金事業	保健福祉課介護福祉グループ	0千円	(25,810千円)	▼
保護司会上川支部運営事業	保健福祉課介護福祉グループ	0千円	(4,600千円)	▼

(4) 子育て環境の充実

153,055千円

(114,460千円) ○

「子ども・子育て支援事業計画」をもとに、幼児教育の保育や子育て支援事業などの充実に努めるとともに、情報提供や相談体制の充実を図ってまいります。

私立幼稚園については、新たな施設型給付を受ける施設に移行することから、国などの基準に基づき所要の助成を行ってまいります。

保育サービスについては、中央保育所を中心に育児や子育ての支援に努めるとともに、子育て支援センターについても、安心できる環境のなかで、活動の充実を図ってまいります。

また、子育て家庭の支援として、中学生までの医療費の全額助成や出産祝い金、出産祝い品贈呈事業を行ってまいります。

●児童手当事業

保健福祉課介護福祉グループ

38,340千円

(41,034千円) ▲

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、国が実施している児童手当の事業費です。支給対象は中学校修了前の子どもの保護者です。一部地方の負担が増えています。

財源内訳	
国の負担金	26,869千円
道の負担金	5,730千円
町の一般財源	5,741千円

●保育所関係経費

中央保育所

45,174千円

(42,899千円) ○

保護者等が仕事などにより、家庭で保育できない乳児・幼児を保育する保育所の運営経費です。

財源内訳	
道からの補助金	41千円
保育料	7,546千円
広域入所委託料	522千円
給食材料費職員負担分など	974千円
町の一般財源	36,091千円



●子ども医療費助成事業

保健福祉課医療給付グループ

11,108千円

(12,153千円) ▲

乳幼児の健やかな成長と保健の向上のため、子供に対する医療費の全額助成を行う事業です。平成25年1月からは、対象を中学校修了前まで拡充しています。

財源内訳	
道からの補助金	1,590千円
町の借入金	7,800千円
高額医療費の医療保険者負担分	400千円
町の一般財源	1,318千円

●未熟児養育医療事業

保健福祉課医療給付グループ

441千円

(361千円) ○

医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行うことにより、未熟児の健康の増進を図る事を目的とした事業です。母子保健法が改正され、平成25年4月1日より権限移譲されました。

財源内訳	
国からの補助金	150千円
道からの補助金	75千円
高額医療費の医療保険者負担分	140千円
町の一般財源	76千円

●ひとり親家庭等医療費助成事業

保健福祉課医療給付グループ

1,871千円

(1,885千円) ▲

ひとり親家庭の生活安定と保健の向上のため、ひとり親家庭などの母や父と児童に対し医療費の一部を助成する事業です。(所得制限などの要件があります。)中学生以下の子については、子ども医療費助成制度が併用できます。

財源内訳	
道からの補助金	599千円
高額医療費の医療保険者負担分	170千円
町の借入金	900千円
町の一般財源	202千円



●母子通園センター設置事業

保健福祉課介護福祉グループ

3,442千円

(3,442千円) ◇

発達に不安や心配がある子どもに対し、子どもの発達に合わせた遊びを中心に療育を行い、成長を促すため設置をされている母子通園センター(当麻町)の運営経費に対する負担を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	3,442千円

●支援センター事業

中央保育所

2,186千円

(2,177千円) ○

子育てに対する情報の提供、相談や豊かな子育て事業を行うため、子育て支援センターを開設運営する事業です。

財源内訳	
国からの補助金	725千円
道からの補助金	725千円
ふるさと応援基金からの繰入金	20千円
町の一般財源	716千円

●出産祝品事業

保健福祉課介護福祉グループ

635千円

(621千円) ○

上川町在住者が出産したときに、町から祝品を贈る事業です。

財源内訳	
町の一般財源	635千円

●出産祝金

保健福祉課介護福祉グループ

1,100千円

(1,100千円) ◇

次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るため、3人目以降の子どもの出産時に祝金を支給する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	1,100千円

●私立幼稚園施設型給付事業

保健福祉課医療給付グループ

45,718千円

(0千円) ☆

制度改正により町内にある2つの私立幼稚園に施設型給付を行う事業です。

財源内訳	
国からの補助金	21,281千円
道からの補助金	10,640千円
町の一般財源	13,797千円

●その他子育て環境事業

幼稚園一時預かり運営事業	保健福祉課医療給付グループ	2,007千円	(0千円)	☆
母子通園センター通所交通費助成事業	保健福祉課介護福祉グループ	140千円	(94千円)	○
児童福祉総務管理経費	保健福祉課介護福祉グループ	893千円	(4,410千円)	▲
子育て世帯臨時特例給付事業	保健福祉課医療給付グループ	0千円	(4,284千円)	▼

(5) 高齢者福祉の充実

47,294千円

(43,716千円) ○

高齢化率が年々上昇するなかで、高齢者が生きがいを感じながら健康に暮らすことは、活力あるまちづくりにおいて重要な課題であり、その環境づくりが求められています。

「第6期上川町高齢者保健福祉計画及び上川町介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住みなれた地域と関わりを持ち、楽しく充実した生活を送ることができるよう各福祉団体との連携を深め、生きがいづくり・生活支援などの充実を図ってまいります。

老人クラブや高齢者事業団の支援をはじめ、高齢者福祉タクシー料金等助成事業、給食サービス事業、屋根雪下ろし助成事業などを引き続き実施してまいります。

また、高齢者の生きがいづくりの一環として旭ヶ丘地区でボランティアを行う「いきいきおもてなし事業」を新たに実施してまいります。

介護保険事業については、保険料や給付制度が変わることから周知の徹底を図るとともに、高齢者のニーズに合わせた各種サービスの提供に努めてまいります。

●社会福祉センター管理経費

保健福祉課介護福祉グループ

10,624千円

(9,871千円) ○

社会福祉センター（ふれあいセンター）の燃料費や施設管理委託などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
町の一般財源	10,624千円

●地域ケア対策事業

保健福祉課介護福祉グループ

10,398千円

(10,004千円) ○

社会福祉協議会に家事援助サービス（ホームヘルパー派遣）や電話サービス（安否確認と電話相談）などの事業を実施する経費を交付する事業です。

財源内訳	
町の借入金	9,800千円
町の一般財源	598千円



●老人福祉施設措置費事業

保健福祉課介護福祉グループ

1,642千円

(1,652千円) ▲

65歳以上の高齢者で身体上、精神上、環境上、経済上の理由で、家庭で養護を受けることがむずかしい方が、入居できる養護老人ホームの入居者の生活費などを負担する事業です。

財源内訳	
入所者費用徴収金	150千円
町の一般財源	1,492千円



●社会福祉法人かみかわ福寿園施設改修事業

保健福祉課介護福祉グループ

3,770千円

(3,817千円) ▲

平成24年度に実施した、社会福祉法人上川福寿園の施設改修事業借入金の償還金に対する補助を行う事業です。

財源内訳	
地域福祉基金繰入金	3,750千円
町の一般財源	20千円

●社会福祉法人等利用者負担軽減事業

保健福祉課介護福祉グループ

1,560千円

(1,500千円) ○

介護保険サービスの利用者の負担軽減を図るため、町民税非課税世帯で一定の所得要件に該当する方を対象に、介護保険サービスの利用者負担額を軽減する事業です。

財源内訳	
道からの補助金	1,170千円
町の一般財源	390千円

●高齢者等介護予防・生活支援事業

保健福祉課介護福祉グループ

2,313千円

(2,298千円) ○

介護予防と自立した生活を確保するため、ひとり暮らしの高齢者などを対象に、除雪サービス、生活支援ショートステイや外出支援サービスを提供する事業です。

財源内訳	
サービス利用者負担金	98千円
町の一般財源	2,215千円

●長寿祝い金

保健福祉課介護福祉グループ

1,990千円

(1,675千円) ○

多年にわたり社会の発展に寄与してきた高齢者に対して、感謝の意を表し長寿のお祝いとして、数え年77歳、88歳、99歳と100歳以上の高齢者に、長寿祝い金を支給する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	1,990千円



●高齢者事業団運営費事業

保健福祉課介護福祉グループ

1,953千円

(1,622千円) ○

高齢者が地域社会の活動と密接な関係を保ちながら、経験と能力を生かした働く機会を確保するため活動している高齢者事業団に対し、活動経費の補助を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	1,953千円

●高齢者福祉タクシー料金等助成事業

保健福祉課介護福祉グループ

3,243千円

(3,217千円) ○

高齢者の積極的な社会参加と健康の維持増進を図るため、町民税が非課税か均等割課税の75歳以上の高齢者に対し、タクシー乗車券又はバス乗車カードを交付する事業です。本年度は6,000円分の乗車券又は乗車カードを交付します。

財源内訳	
町の一般財源	3,243千円

●ケアプラン相談センター事業

保健福祉課介護福祉グループ

2,750千円

(2,477千円) ○

介護サービスを受けるために、ケアプランを作成しなければ、利用者は自己負担が高額となります。包括支援センターである社会福祉協議会がプランを作成することとなりますが、その運営に必要な費用を補助する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	2,750千円

●その他高齢者福祉事業

いきいきおもてなし事業	保健福祉課介護福祉グループ	535千円	(0千円)	☆
訪問看護ステーション設置事業	保健福祉課介護福祉グループ	700千円	(700千円)	◇
老人クラブ運営費事業	保健福祉課介護福祉グループ	616千円	(616千円)	◇
緊急通報装置貸与事業	保健福祉課介護福祉グループ	476千円	(430千円)	○
介護用品費助成事業	保健福祉課介護福祉グループ	192千円	(192千円)	◇
寝たきり老人等介護手当事業	保健福祉課介護福祉グループ	240千円	(120千円)	○
健康と長寿を祝う会実行委員会交付金事業	保健福祉課介護福祉グループ	300千円	(300千円)	◇
高齢者陶芸教室事業	保健福祉課介護福祉グループ	103千円	(158千円)	▲
離島等地域利用者負担軽減措置費事業	保健福祉課介護福祉グループ	50千円	(50千円)	◇
高齢者等屋根雪下ろし事業	保健福祉課介護福祉グループ	3,750千円	(3,000千円)	○
老人福祉総務管理経費	保健福祉課介護福祉グループ	89千円	(17千円)	○

(6) 障がい者(児)福祉の充実

184,679千円

(172,262千円) ○

障がい者などの自立を尊重し、生まれ育った地域、住み慣れた地域で生活ができるように、日常生活・社会生活の支援をするなど、地域の役割が重要性を増すとともに、障がい者などを取り巻く環境は大きく変化してきております。「第4期上川町障がい福祉計画」に基づき、住みやすい環境づくり、就労支援・相談支援体制の充実、情報提供の整備など、よりきめ細やかなサービスの提供に努めてまいります。国や道の制度による居宅介護サービス、生活支援、就労支援事業のほか、町単独で重度心身障がい(児)者福祉タクシー料金等助成事業や補装具給付事業、通院・通所の交通費助成事業などを行い、地域で安心して暮らすことができるよう取り組んでまいります。また、通所する障がい者や保護者の精神的負担の軽減や便宜を図るため、通所送迎について検討してまいります。

近隣4町の共同設置の「上川中部基幹相談支援センター」や町の「障がい者福祉相談支援センター」など関係機関と連携した相談支援に努めてまいります。

●障害福祉サービス費事業

保健福祉課介護福祉グループ

143,575千円

(130,778千円) ○

障害者自立支援法に基づくホームヘルプサービスや施設入所支援などの介護給付、自立訓練やグループホームなどの訓練等給付などの障害福祉サービスを提供する事業です。この事業では、これらのサービスに係る利用者負担以外の費用について負担します。

財源内訳	
国の負担金	71,787千円
道の負担金	35,893千円
町の一般財源	35,895千円

●重度心身障害者医療費助成事業

保健福祉課医療給付グループ

8,744千円

(8,952千円) ▲

心身障害者家庭の福祉増進を図るため、重度心身障害者やその扶養者に対して、医療費の一部を助成する事業です。(所得制限などの要件があります。)

財源内訳	
道からの補助金	3,599千円
高額医療費の医療保険者負担分	1,000千円
町の借入金	3,300千円
町の一般財源	845千円

●上川中部基幹相談支援センター事業 保健福祉課介護福祉グループ 8,563千円 (8,443千円) ○

地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障がい者相談支援事業などを上川、愛別、当麻、鷹栖の4町が共同で当麻町に上川中部基幹相談支援センターを設置し運営するための事業です。

財源内訳	
町の一般財源	8,563千円

●特定障害者特別給付費事業 保健福祉課介護福祉グループ 4,363千円 (4,127千円) ○

所得の低い障がい者が入所施設を利用する場合に、少なくとも一定額の生活費が手元に残るように、食費や光熱水費などの実費負担の一部を軽減する事業です。

財源内訳	
国の負担金	2,182千円
道の負担金	1,091千円
町の一般財源	1,090千円

●地域生活支援事業 保健福祉課介護福祉グループ 4,374千円 (4,809千円) ▲

この事業は、地域で生活する障がい者の日常生活を支援する事業です。移動支援事業や日常生活用具給付事業などのサービスを提供します。

財源内訳	
国の補助金	900千円
道からの補助金	473千円
町の一般財源	3,001千円

●障害者自立支援医療費給付事業 保健福祉課介護福祉グループ 2,247千円 (1,846千円) ○

障がい者の心身の軽減を図り、自立した日常生活や社会生活を営むために必要な医療を提供する事業です。(利用者負担は医療費の原則1割ですが、所得に応じて自己負担額の上限が決められています。)

財源内訳	
国の負担金	1,123千円
道の負担金	562千円
町の一般財源	562千円

●障害者補装具費給付事業 保健福祉課介護福祉グループ 1,793千円 (1,943千円) ▲

障がいにより失われた身体機能の補完や代替するための用具(補聴器、義手、義足、車椅子など)の購入費、修理費を支給する事業です。

財源内訳	
国の負担金	896千円
道の負担金	448千円
町の一般財源	449千円

●その他障がい者(児)福祉事業

難病者援護金事業	保健福祉課介護福祉グループ	720千円	(600千円)	○
心身障害者等施設通所交通費助成事業	保健福祉課介護福祉グループ	506千円	(918千円)	▲
計画相談支援給付費・障害児相談支援給付費事業	保健福祉課介護福祉グループ	2,063千円	(2,262千円)	▲
重度心身障害者福祉タクシー料金助成事業	保健福祉課介護福祉グループ	432千円	(474千円)	▲
腎臓機能障害者交通費助成事業	保健福祉課介護福祉グループ	213千円	(219千円)	▲
療養介護医療費給付事業	保健福祉課介護福祉グループ	3,338千円	(3,322千円)	○
心身障害福祉管理経費	保健福祉課介護福祉グループ	3,748千円	(3,569千円)	○

(7) 社会保障制度の健全運営

198,894千円 (188,689千円) ○

国民健康保険事業は、疾病にかかりやすい高齢な被保険者が多く、医療費が増加傾向にあり、経済状況の低迷により安定的な国民健康保険税の確保が困難なことから、運営は極めて厳しく、一般会計からの支援が必要な状況となっております。

予防に重点をおいた医療費の適正化に努めるとともに、経済状況に配慮した受益者負担の公正化などに取り組み、国保事業の健全かつ安定的な運営を図ってまいります。

●後期高齢者医療事業費

保健福祉課医療給付グループ

91,361千円 (85,417千円) ○

後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を対象にした医療制度です。保険者である北海道広域連合に対する町の負担金や後期高齢者医療事業特別会計に対する繰出金などの経費です。

財源内訳	
道の負担金	17,345千円
受託事業収入	694千円
町の一般財源	73,322千円

●介護保険事業特別会計繰出金

保健福祉課介護福祉グループ

74,407千円 (72,100千円) ○

介護が必要な高齢者などにサービスを提供する介護保険事業に対する町の負担分の繰出金です。

財源内訳	
国の負担金	670千円
道の負担金	335千円
町の一般財源	73,402千円

●国民健康保険事業特別会計繰出金

保健福祉課医療給付グループ

33,126千円 (31,172千円) ○

国民健康保険事業に対する町の負担分などの繰出金です。

財源内訳	
国の負担金	1,500千円
道の負担金	12,000千円
町の一般財源	19,626千円



2 安全・安心で環境にやさしいまちづくり

732,926千円 (966,654千円) ▲

すべての住民が快適な生活を営むため、道路、住宅、上下水道、公園などの社会資本整備を図るとともに、既存施設の効率的な利用と維持管理を進めてまいります。

自然災害や交通災害などのさまざまな災害から住民を守り、安心して生活することができる環境をつくるため、消防・防災体制を充実してまいります。

また、快適・利便性を向上させる一方で、各種災害、防犯などのさまざまな危機管理体制を確立し、安全・安心なまちづくりを進めてまいります。

(1) 住宅環境の充実

18,242千円 (37,440千円) ▲

快適で安心な地域生活を送るため、住生活基本計画に基づき居住環境、地域環境に十分配慮し、公営住宅長寿命化事業を進めてまいります。

また、住宅リフォーム制度の活用と空き家対策の推進に努めてまいります。

●住宅リフォーム等補助金交付事業

建設水道課建設管理グループ

7,000千円 (7,000千円) ◇

住宅、店舗のエコ及び耐震改修、省エネ・新エネ機器、融雪槽及び浄化槽の設置、空き家の取り壊しなどの工事費等に対する一部補助を行います。

財源内訳	
町の一般財源	7,000千円

●住宅管理経費 企画総務課財政グループ 5,242千円 (10,340千円) ▲

公営住宅の修繕料などの維持管理経費です。

財源内訳	
公営住宅使用料	5,242千円

●新光町団地公営住宅解体事業 企画総務課財政グループ 6,000千円 (10,000千円) ▲

新光町公営住宅の解体事業です。

財源内訳	
国の負担金	2,750千円
町の一般財源	3,250千円

●その他住宅環境事業

耐震改修促進計画策定事業	建設水道課水道管理グループ	0万円	(3,000万円) ▼
陸万団地公営住宅解体事業	企画総務課財政グループ	0万円	(4,000万円) ▼
住生活基本計画等策定業務	建設水道課技術グループ	0万円	(3,100万円) ▼

(2) 上下水道の充実 183,542千円 (202,957千円) ▲

水道事業については、健全経営を図るとともに、安心して安全な水の供給に努めてまいります。層雲峡浄水場施設整備実施設計、共進・東雲未普及地域解消のための配水管布設工事を実施してまいります。

下水道については、上川終末処理場長寿命化事業を進めるとともに、公共下水道雨水管布設工事を引き続き実施してまいります。

●公共下水道事業特別会計繰出金 建設水道課水道管理グループ 164,901千円 (156,306千円) ○

公共下水道事業に対する繰出金です。

財源内訳	
町の一般財源	164,901千円

●水道事業会計 建設水道課水道管理グループ 18,641千円 (46,651千円) ▲

水源開発対策借入金の償還に伴う水道事業に対する町の負担金などです。

財源内訳	
公共施設整備基金	17,000千円
町の一般財源	1,641千円

(3) 消防・救急体制の充実 334,473千円 (527,719千円) ▲

複雑多様化、大規模化する各種災害に即応できるよう旭川市と相互協力し、初動体制、消防・救急資器材などの充実強化を図るとともに、地域防災の要である消防団員の確保に努めてまいります。

町民の防火意識の高揚に努め、応急手当の普及を図るなど、町民が安心して暮らせる災害に強い安全なまちづくりに努めてまいります。

●消防事務処理委託事業 上川消防署 297,069千円 (284,171千円) ○

旭川市消防との広域化にかかる上川消防署及び上川消防署層雲峡出張所分の人件費などの運営経費についての事務事業委託料です。

財源内訳	
町の一般財源	297,069千円

●常備消防費事業 上川消防署 24,231千円 (2,558千円) ○

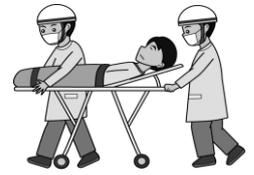
上川消防署と層雲峡出張所にかかる事務的な経費を計上しています。

財源内訳	
町の一般財源	24,231千円

●消防非常備費事業 上川消防署 10,144千円 (9,964千円) ○

主に上川町消防団に対する団員報酬等の経費です。

財源内訳	
町の一般財源	10,144千円



●消防施設費事業 上川消防署 2,629千円 (174,646千円) ▲

上川消防署及び層雲峡出張所の大規模な施設維持経費です。消防車等の大規模な維持経費を含みます。

財源内訳	
町の一般財源	2,629千円

●小中学校等AED設置事業 教育委員会学校教育グループ 140千円 (95千円) ○

上川小学校、上川中学校と総合体育館などに設置しているAED（自動体外除細動器）の賃借料です。

財源内訳	
町の一般財源	140千円

※ AED(自動体外式除細動器)は、突然心停止状態に陥った時、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す、誰にでも簡単に取り扱える医療機器です。

●その他防災危機管理体制事業

上川町少年消防クラブ事業	上川消防署	20千円	(20千円)	◇
上川町婦人防火クラブ事業	上川消防署	20千円	(20千円)	◇
上川町危険物安全協会事業	上川消防署	20千円	(20千円)	◇
上川町層雲峡防火管理者協会事業	上川消防署	20千円	(20千円)	◇
上川消防後援会事業	上川消防署	180千円	(180千円)	◇
旧消防本部会計事業（過年度支出分）	上川消防署	0千円	(1,031千円)	▼
旧消防署会計常備消防費事業（過年度支出分）	上川消防署	0千円	(6,194千円)	▼
旧消防署会計非常備消防費事業（過年度支出分）	上川消防署	0千円	(3,461千円)	▼
旧消防署会計消防施設費事業（過年度支出分）	上川消防署	0千円	(45,339千円)	▼

(4) 防災危機管理体制の充実強化 1,290千円 (17,401千円) ▲

住民の生命、財産を災害から保護し、防災の万全を期するため、災害時の情報伝達手段の整備を年次計画で進めるとともに、災害用備蓄品の充実確保に努めてまいります。

また、上川町地域防災計画に基づき大雨や土砂災害など緊急事態に対応する意識を高めるため、関係機関・団体と連携しながら啓発活動に努めてまいります。

層雲峡小学校の沢砂防事業をはじめとする砂防・治山事業については、関係機関との連携を図り、事業促進に努めてまいります。

●防災関係経費 企画総務課企画グループ 772千円 (6,083千円) ▲

災害予防などの防災対策を実施し、本町防災の万全を期するための経費で、本年度は、防災無線機の修理や避難所予定地の除排雪経費を計上しています。

財源内訳	
町の一般財源	772千円



●その他防災危機管理体制事業

道北地方山岳遭難防止対策事業	産業経済課商工観光グループ	368千円	(368千円)	◇
道路橋梁災害復旧事業	建設水道課技術グループ	150千円	(150千円)	◇
上川町災害情報伝達設備整備事業	企画総務課企画グループ	0千円	(10,800千円)	▼

(5) 交通安全・防犯の推進

28,169千円 (19,579千円) ○

上川町安全安心協会を中心に、防犯意識と交通知識の高揚を図り、積極的な自主防犯活動と交通安全の取り組みを進めてまいります。

また、交通安全灯などのLED化事業を年次計画で進めてまいります。

- 町内会街灯電気料助成事業 企画総務課総務グループ 550千円 (700千円) ▲

各町内会で管理をしている街灯の電気代に対し補助を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	550千円

- 町内防犯灯LED化更新事業 企画総務課総務グループ 1,806千円 (6,526千円) ▲

各町内会の管理をしている街灯のLED化に対する補助を行います。複数年で行う予定です。

財源内訳	
町の借入金	1,500千円
町の一般財源	306千円

**●交通安全・防犯事業**

町道区画線設置事業	企画総務課総務グループ	500千円	(250千円)	○
上川町安心安全事業(交通安全協会・防犯協会)	企画総務課総務グループ	50千円	(50千円)	◇
地域安全対策関係費	企画総務課総務グループ	16,490千円	(12,053千円)	○
交通安全灯LED化更新事業	企画総務課総務グループ	8,773千円	(0千円)	☆

(6) 消費者生活の安定

131千円 (124千円) ○

消費者被害の未然防止と被害者対策のため、町広報誌などによる情報提供と消費者相談員との連携を密にし、安全で安心な消費生活が送れるよう、旭川市と連携し消費生活相談体制の充実に努めてまいります。

●消費者生活安定事業

消費者保護対策事業	産業経済課商工観光グループ	101千円	(94千円)	○
悪徳商法対策事業	産業経済課商工観光グループ	30千円	(30千円)	◇

(7) 環境衛生の充実

167,079千円 (161,434千円) ○

ごみ処理については、搬出量は前年と比較し減少傾向にあり、今後においても、より一層のごみの資源化や減量化を図るとともに、地域住民との協働によるリサイクル運動の推進と循環型社会の形成に努めてまいります。

し尿処理については、下水道への接続や浄化槽の設置により処理量は年々減少しており、本年度においても「旭川市環境センター」へ全量搬出することといたします。

害虫駆除対策については、カメムシ駆除対策事業として駆除費用の助成措置を継続してまいります。

- 愛別町外3町塵芥処理組合事業 税務住民課住民グループ 63,158千円 (63,922千円) ▲

愛別町、当麻町、比布町と上川町が共同でゴミ処理を行っている愛別町外3町塵芥処理組合に対する町の負担金です。

財源内訳	
町の一般財源	63,158千円

- し尿処理事業 税務住民課住民グループ 27,849千円 (29,349千円) ▲

下水道に接続をしていない家庭などのし尿を処理する際の処理場に対する手数料やし尿収集運搬業務委託料などの経費です。

財源内訳	
し尿収集手数料	729千円
町の一般財源	27,120千円

●一般廃棄物事業

税務住民課住民グループ

52,460千円

(51,378千円) ○

家庭やホテルなどのゴミを収集する業務の委託料です。

財源内訳	
塵芥収集手数料等	9,140千円
町の一般財源	43,320千円



●上川町リサイクル等推進協議会事業

税務住民課住民グループ

4,438千円

(4,441千円) ▲

ゴミ資源の有効活用などを推進するため、ゴミの減量化や資源ゴミの回収を行っているリサイクル等推進協議会に対し活動費を交付する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	4,438千円

●公衆衛生過疎対策事業

税務住民課住民グループ

3,937千円

(3,525千円) ○

公衆浴場の確保と経営の安定のため、経営に対する補助を行う事業です。

財源内訳	
町の借入金	3,900千円
町の一般財源	37千円



●火葬場維持管理経費

税務住民課住民グループ

12,322千円

(5,915千円) ○

火葬場の運営、維持管理業務に対する委託料です。本年度は火葬炉の改修工事を含みます。

財源内訳	
火葬場使用料等	298千円
町の借入金	10,200千円
町の一般財源	1,824千円

●墓地維持管理事業

税務住民課住民グループ

542千円

(496千円) ○

上川中央墓地の維持管理に関する経費です。

財源内訳	
墓地使用料	20千円
町の一般財源	522千円

●再生資源回収処理事業

税務住民課住民グループ

1,219千円

(1,190千円) ○

資源ゴミを回収し処理する業務の委託料です。

財源内訳	
リサイクル資源収益金	669千円
町の一般財源	550千円

●害虫駆除補助金事業

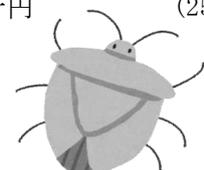
税務住民課住民グループ

150千円

(250千円) ▲

カメムシの駆除に対する補助を行います。

財源内訳	
町の一般財源	150千円



●その他環境衛生事業

リサイクル管理経費	税務住民課住民グループ	731千円	(649千円)	○
環境衛生関係経費	税務住民課住民グループ	76千円	(260千円)	▲
狂犬病予防接種事業	税務住民課住民グループ	197千円	(59千円)	○

3. 魅力と活力ある元気なまちづくり

517,225千円 (525,896千円) ▲

生産者と消費者が幅広い分野で連携し、地元の資源や生産物、人材、技術を地元で消費・活用することによって、人やもの、資金の地域循環を高め、地域経済の活性化を図る産消協働の取り組みを、息の長い運動として総合的に展開してまいります。

農業振興については、経営の安定化を図るため、安全・安心・安定した生産体制の確立、生産力の向上、基盤整備や農業者の育成などの活性化対策を進めてまいります。

商工業振興については、地域経済の活性化や雇用の拡大を図るため、商工業の振興と企業誘致を進めるとともに、地域資源を活用した新たな商品開発やPR活動を展開し、地場製品の消費拡大を進めてまいります。

関連産業のすそ野が広い観光については、旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光産業の創出を図るため、豊かな自然を活かした、ゆとりとうるおいが得られる魅力ある観光地づくりを進めてまいります。

(1) 農業の振興

144,412千円 (120,672千円) ○

地域の特性を活かした生産性の高い安定した農業の確立と、安全で良質な農産物の生産振興を図ってまいります。

稲作・畑作については、これまで以上に品質が高い特別栽培米の取り組みに対し支援を行うほか、農地の多面的機能を維持するため東雲・菊水地区で農業用水路の長寿命化事業並びに中山間地域等直接支払を進めてまいります。

また、ほ場の排水性向上を図るため、農地改善対策事業を引き続き実施してまいります。

担い手対策については、将来の農業を担う青年を対象に海外研修事業などに助成を行ってまいります。

畜産・酪農については、経営の安定を図るため、有利な融資制度資金の導入を進めるとともに、助成措置を継続してまいります。

土地改良事業については、道営事業として越路豊原地区農道実施設計並びに旭ヶ丘地区中山間総合整備事業を実施してまいります。

さらに、地元農畜産物の地産地消の推進と農業関係団体との協働による販路拡大に向けた取り組みのほか、上川ブランドの情報発信に努めてまいります。

●中山間地域等直接支払制度交付金事業

産業経済課農林水産グループ

55,957千円 (55,944千円) ○

中山間地域における条件不利地な農用地に対し、直接支払制度により耕作放棄地の防止などの農業生産活動のほか多面的機能をさらに増進する活動に対し助成を行うものです。

財源内訳	
道からの交付金	41,435千円
町の一般財源	14,522千円

●農業委員会管理経費

農業委員会事務局

4,605千円 (4,617千円) ▲

委員会の委員報酬などの農業委員会の運営経費です。

財源内訳	
道からの補助金など	26千円
農業者年金基金からの業務手数料他	265千円
町の一般財源	4,314千円

●土地改良事業管理経費

産業経済課農林水産グループ

11,925千円 (6,826千円) ○

優良農地の確保・有効利用対策のため、土層改良・区画拡大・暗渠排水等の事業に対する補助を行う事業です。

財源内訳	
町の借入金	9,000千円
町の一般財源	2,925千円

●地域農業支援事業

産業経済課農林水産グループ

3,180千円

(3,180千円) ◇

地域農業支援システムの推進を図るため、農地買い戻し事業の償還金に対する補助を行う事業です。(平成43年度まで)

財源内訳	
町の一般財源	3,180千円

●農業担い手対策推進事業

産業経済課農林水産グループ

290千円

(290千円) ◇

将来の上川町の農業を担う者のため、積極的にパートナーを見つけ、地域の活性化につなげる事業です。

財源内訳	
町の一般財源	290千円



●道営中山間総合整備事業負担金

産業経済課農林水産グループ

28,477千円

(16,299千円) ○

土地改良事業で造成をした町の管理施設などの維持や調査を行う経費です。

財源内訳	
町の借入金	27,400千円
町の一般財源	1,077千円

●多面的機能支払交付金事業

産業経済課農林水産グループ

11,634千円

(3,046千円) ○

過疎化や高齢化が進むことによる集落機能の低下を防ぎ、農地や農業用水などの資源の保全や管理を行うために、農業生産の基礎となる農地や農業用水をはじめ農村の環境や美しい景観を、農業者だけでなく地域ぐるみで守り支えていく活動に対して支援をする事業です。(東雲地区と菊水地区が対象になります。)

財源内訳	
道からの交付金	8,737千円
町の一般財源	2,897千円

●町営牧野管理事業

産業経済課農林水産グループ

2,162千円

(4,871千円) ▲

町営牧野の維持管理をするための委託料です。

財源内訳	
町営牧野使用料	756千円
町の一般財源	1,406千円



●大雪区域畜産基地借入金償還金
利子補給事業

産業経済課農林水産グループ

754千円

(1,085千円) ▲

大雪区域畜産基地事業参加農家の借入金に対する利子補給を行うことにより、肉用牛生産の安定化を図る事業です。

財源内訳	
町の一般財源	754千円

●旭ヶ丘地区水道施設維持管理事業 産業経済課農林水産グループ 1,829千円 (2,958千円) ▲

旭ヶ丘地区の水道施設の維持管理をする経費です。

財源内訳	
町の一般財源	1,829千円

●農業用施設緊急整備事業 産業経済課農林水産グループ 3,000千円 (3,000千円) ◇

土地改良事業で造成した施設の維持補修事業です。菊水、東雲地区の改修に着手します。

財源内訳	
町の一般財源	3,000千円

●その他農業振興事業

畜産業費管理経費	産業経済課農林水産グループ	40千円	(4,038千円)	▲
農地改善対策事業	産業経済課農林水産グループ	1,500千円	(2,500千円)	▲
肉用牛再編対策利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	1,500千円	(1,500千円)	◇
乳牛検定事業	産業経済課農林水産グループ	803千円	(798千円)	○
死亡牛等処理事業	産業経済課農林水産グループ	732千円	(732千円)	◇
農産物消流対策事業	産業経済課農林水産グループ	400千円	(400千円)	◇
大家畜経営活性化資金利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	135千円	(196千円)	▲
大家畜経営改善支援資金利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	262千円	(284千円)	▲
農業経営継続緊急支援対策事業(冷湿害対策)	産業経済課農林水産グループ	0千円	(56千円)	▼
畜産経営維持緊急支援資金利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	415千円	(426千円)	▲
農業経営安定化資金利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	9千円	(13千円)	▲
農業振興管理経費	産業経済課農林水産グループ	2,726千円	(6,941千円)	▲
農業経営基盤強化資金利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	583千円	(672千円)	▲
ロボットバレータイザー導入整備事業	産業経済課農林水産グループ	9,700千円	(0千円)	☆
特別栽培農産物支援事業	産業経済課農林水産グループ	1,500千円	(0千円)	☆
経営所得安定対策直接支払推進事業	産業経済課農林水産グループ	243千円	(0千円)	☆
農地中間管理事業	産業経済課農林水産グループ	51千円	(0千円)	☆

(2) 林業の振興 55,754千円 (48,408千円) ○

森林資源を最大限活かした「森林のまち」として再生を図り、「上川町森林・林業再生プラン」に基づき、民有林の町有林化を進めてまいります。町内における木質バイオマス利用推進に向けた有効活用の方法など、今後の活用方法を定める基本計画を作成してまいります。

また、森林の有する多様な公益的機能に配慮し、良質材生産や環境保全機能の高い森づくりを積極的に推進するため、間伐材や林地残材の有効活用について、関係団体と連携するとともに支援をしてまいります。

●町有林整備事業 産業経済課農林水産グループ 26,107千円 (27,015千円) ▲

町民の生活環境の保全と良質な木材の確保を図るため、町有林の整備を行う事業です。

ことしは、間伐・枝打等30.60ha、下刈28.80ha、植栽(補植含む)2.54ha、林道補修21,378mなどを行います。

財源内訳	
道からの補助金	3,702千円
木材の売払収入	1,884千円
町の借入金	18,500千円
町の一般財源	2,021千円



●**森林環境活用事業(定住自立圏事業)** 産業経済課農林水産グループ 26,853千円 (18,749千円) ○

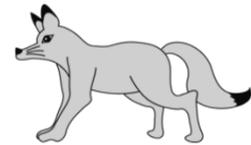
上川中部定住自立圏共生ビジョンに基づき、圏域の豊かな森林資源の魅力を発信するため、森林の保全、整備等を連携して実施する事業です。

財源内訳	
道からの補助金	1,281千円
町の借入金	18,000千円
町の一般財源	7,572千円

●**有害鳥獣駆除事業** 産業経済課農林水産グループ 2,189千円 (2,200千円) ▲

生活環境や農業、林業などに被害を及ぼすヒグマや鹿などの有害鳥獣からの被害を防止するための経費です。

財源内訳	
町の一般財源	2,189千円



●**その他林業振興事業**
林業振興管理経費 産業経済課農林水産グループ 605千円 (444千円) ○

(3) 淡水漁業の振興 2,054千円 (2,027千円) ○

飼養管理技術の向上を図り、安定的かつ計画的な生産を確保し、消費者への需要拡大並びに販路拡大により経営の安定化を図ってまいります。

●**ウィルス性伝染病防疫対策事業** 産業経済課農林水産グループ 700千円 (700千円) ◇

環境悪化、水質汚染などによる魚病発生に対応するため、各種予防対策を実施し、健康な種苗の育成を図る事業です。

財源内訳	
町の一般財源	700千円

●**その他淡水漁業振興事業**
パンケフェマナイ川導水路維持管理事業 産業経済課農林水産グループ 1,354千円 (1,327千円) ○

(4) 商工業の振興 21,707千円 (21,510千円) ○

町特別融資制度の利子補給を引き続き実施するとともに、商工会への助成措置を講じ中小企業者の経営基盤の安定化に努めてまいります。

商店街活性化対策として、地域に密着したイベント事業の支援を図ってまいります。地場製品の販売促進については、「食のイベント」、「特産品フェア」などの各種イベントに積極的に参加促進を図るとともに、農業・商工業・観光業の産業間連携を図り、地場製品のPR及び消流対策を行うほか、昨年に引き続き食のガーデン事業に支援を行ってまいります。

また、地域住民等緊急支援のためのプレミアム商品券事業に支援をしてまいります。

●**商工振興事業** 産業経済課商工観光グループ 12,344千円 (11,105千円) ○

地域の商工業者の経営改善への相談や指導、地域内経済振興を図るため活動を行っている商工会の活動経費に対し補助をする事業です。

財源内訳	
道の交付金	4千円
町の一般財源	12,340千円

●グルメイベント開催事業

産業経済課商工観光グループ

1,600千円

(2,700千円) ▲

上川町独自の食のイベントとして、国道39号線の活性化と旭ヶ丘、市街地と連携したイベントを開催する事業です。管内の麺の競演、特産品の販売、PRを行います。

財源内訳	
地域づくり総合交付金	1,000千円
町の一般財源	600千円

●その他商工業振興事業

ふる里まつり負担金事業	産業経済課商工観光グループ	1,700千円	(2,000千円)	▲
町特別融資制度利子補給事業	産業経済課商工観光グループ	566千円	(461千円)	○
たべもの交流館維持管理経費	産業経済課農林水産グループ	2,615千円	(2,573千円)	○
地場産品消流対策事業	産業経済課商工観光グループ	150千円	(150千円)	◇
まちおこし推進事業	産業経済課商工観光グループ	100千円	(50千円)	○
商工労働管理経費	産業経済課商工観光グループ	2,632千円	(2,471千円)	○

(5) 観光業の振興

291,435千円

(331,416千円) ▲

観光産業の安定的な発展を図るため、観光客の多様なニーズに対応した魅力ある観光地づくりを進めるため、まごころのこもった「おもてなし」で歓迎できる体制を図ってまいります。

層雲峡観光協会への助成措置を講ずるとともに、関係機関・団体との連携を図り、観光客誘致対策などの各種事業を実施してまいります。

広域観光の取り組みとしては、各協議会などと連携し、北海道内・外及び海外へのトップセールスを実施するとともに、旭川市をはじめとする関係市町村との連携を図り、広域での観光客誘致に努めてまいります。観光施設については、各施設の適切な維持管理を行ってまいります。

旭ヶ丘地区活性化事業については、「北海道ガーデンショー2015大雪」を開催いたしますので、引き続き情報の発信に努めるとともに関連する施設の整備を図ってまいります。

また、魅力ある事業の実施や適切な管理運営を図るため、「NPO法人旭ヶ丘」と連携してまいります。

●層雲峡コミュニティセンター・バーデハウス管理運営等

産業経済課商工観光グループ

32,157千円

(29,638千円) ○

層雲峡観光総合コミュニティーセンターと大雪山バーデハウス（黒岳の湯）の維持管理経費を行う事業です。

財源内訳	
入館料など	14,628千円
町の借入金	10,000千円
町の一般財源	7,529千円

●層雲峡パークゴルフ場維持管理経費

産業経済課商工観光グループ

14,518千円

(14,824千円) ▲

清川地区の層雲峡パークゴルフ場の管理業務委託料などの維持管理経費です。

財源内訳	
緑化協力金など	2,150千円
町の一般財源	12,368千円



●層雲峡観光協会運営事業

産業経済課商工観光グループ

14,014千円

(14,911千円) ▲

町の基幹産業である観光の推進を図るため、観光客誘致宣伝や各種イベントの開催などの活動を行う観光協会の活動経費に対し補助を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	14,014千円

●層雲峡地区活性化イベント事業 産業経済課商工観光グループ 13,500千円 (12,000千円) ○

層雲峡地区の活性化を図るためのイベント、峡谷火まつり、花ものがたり、氷瀑まつりに対する町の負担金です。

財源内訳	
町の借入金	13,500千円

●青少年旅行村維持管理経費 産業経済課商工観光グループ 7,044千円 (6,764千円) ○

清川地区の青少年旅行村（キャンプ場）の管理業務委託料などの維持管理経費です。



財源内訳	
青少年旅行村使用料	2,582千円
町の一般財源	4,462千円

●観光客誘致対策事業 産業経済課商工観光グループ 9,825千円 (8,675千円) ○

層雲峡温泉の話題性作りと知名度アップを図るために実施する事業に対して補助をする事業です。さまざまな集客事業を展開します。

財源内訳	
町の一般財源	9,825千円

●環境整備事業 産業経済課商工観光グループ 3,500千円 (3,500千円) ◇

層雲峡の園地内草刈り、公共トイレの清掃やゴミの回収などを行うための負担金です。

財源内訳	
町の借入金	3,500千円

●愛山溪倶楽部維持管理経費 産業経済課商工観光グループ 3,921千円 (18,525千円) ▲

愛山溪の青少年の家とヒュッテの管理業務委託料などの維持管理経費です。

財源内訳	
町の一般財源	3,921千円

●層雲峡・大雪山写真ミュージアム事業 産業経済課商工観光グループ 11,033千円 (11,106千円) ▲

旧層雲峡小学校の校舎に大雪山及び層雲峡の写真を展示することによって、大雪山の雄大さ、素晴らしさを観光客に理解を深め、より一層の魅力を引き出す事業です。

財源内訳	
入館料	3,350千円
町の一般財源	7,683千円

●旭ヶ丘地区活性化事業 産業経済課農林水産グループ 161,409千円 (187,996千円) ▲

平成21年度に策定した「旭ヶ丘地区活性化計画」に基づき、素晴らしい景観を有する旭ヶ丘地区を全国に誇れるような場所を目指し整備をして行く事業です。今年度は「北海道ガーデンショー2015大雪」を開催するため必要な経費を予算化しています。

財源内訳	
町の借入金	24,000千円
地域づくり総合交付金他	100,000千円
町の一般財源	37,409千円



●その他観光業振興事業

不採算バス路線（銀泉台）対策事業	産業経済課商工観光グループ	1,000千円	(1,000千円)	◇
農業・商工・観光連携対策事業	産業経済課商工観光グループ	550千円	(550千円)	◇
観光振興管理経費	産業経済課商工観光グループ	14,950千円	(13,361千円)	○
清川水芭蕉園整備事業	産業経済課商工観光グループ	840千円	(3,916千円)	▲
観光用広告料	産業経済課商工観光グループ	3,174千円	(2,850千円)	○
観光プロモーションDVD作成事業	産業経済課商工観光グループ	0千円	(1,500千円)	▼
ユースホステル維持管理経費	産業経済課商工観光グループ	0千円	(300千円)	▼

(6) 雇用対策の充実 363千円 (363千円) ◇

雇用情勢は、改善はみられるものの厳しい環境にあります。旭ヶ丘地区活性化事業に伴う雇用の拡大と安定化を目指すほか、産業間連携による雇用の創出に努めてまいります。

●上川地区連合会事業 産業経済課商工観光グループ 280千円 (280千円) ◇

労働者の福祉及び雇用対策に係る補助金です。

財源内訳	
町の一般財源	280千円

●雇用対策事業

上川町福祉共済会事業	産業経済課商工観光グループ	63千円	(63千円)	◇
雇用問題対策委員会経費	産業経済課商工観光グループ	20千円	(20千円)	◇

(7) 人材の育成 1,500千円 (1,500千円) ◇

人材育成は、持続可能なまちづくりの推進を図るために欠かすことのできない重要な課題であります。町民を対象とした研修などを継続するとともに、能力開発や学習する機会などの環境づくりを進め、多様な人材の育成確保に努めてまいります。

●ふるさと創生事業推進事業 企画総務課企画グループ 1,500千円 (1,500千円) ◇

上川高校の高校生を対象に、国際感覚の育成と郷土への再認識を図るための海外研修に係る経費を交付する事業です。

財源内訳	
町の借入金	1,100千円
町の一般財源	400千円

4. 豊かな自然環境と共生するまちづくり 345,721千円 (312,715千円) ○

大雪山国立公園のまちにふさわしい環境の整備を行ない、自然景観のうらおいを享受できる美しいまちづくりを進めてまいります。

大雪山は、いつの時代においても、いきいきと存在する「上川町のシンボル」であることから、こうした環境を適切に保全するとともに、暮らしの場、訪れる場、ふれあいの場など、わたしたちが豊かに生きるための環境として、自然と共生するまちづくりを進めてまいります。

(1) 景観の形成・自然環境の保護と活用 10,585千円 (7,495千円) ○

地域住民と行政が景観を守り、育て、創る、協働作業を通じて国立公園にふさわしい景観形成に努めるとともに、環境と共存するまちづくりを進めるため、自然環境との調和を図りつつ保全に努めてまいります。また、層雲峡旧日赤分院跡地の活用について、調査研究を進めてまいります。

●層雲峡地区自然ふれあい利用協議会事業 産業経済課商工観光グループ 4,300千円 (4,415千円) ▲

層雲峡ビジターセンターの管理運営や自然学習、体験学習を進めるため、層雲峡地区を中心に自然観察講座の開催などや自然情報の収集、提供を行う事業です。

財源内訳	
町の借入金	4,300千円

●高原温泉地区利用者指導等事業

産業経済課商工観光グループ

1,502千円

(1,437千円) ○

高原温泉地区の沼めぐりコースはヒグマの生息地にコースがあることから、利用者に対する指導業務を行い、利用者とヒグマの共存を図る事業です。

財源内訳	
町の借入金	1,500千円
町の一般財源	2千円

●自然保護巡視事業

産業経済課商工観光グループ

1,606千円

(1,536千円) ○

層雲峡地区の自然保護巡視事業に対する町の負担金です。

財源内訳	
町の借入金	1,600千円
町の一般財源	6千円

●その他景観形成及び自然環境保護事業

旧層雲峡日赤分院跡地利用事業	企画総務課企画グループ	3,000千円	(0千円) ☆
景観審議会経費	建設水道課建設管理グループ	27千円	(27千円) ◇
大雪山愛護少年団事業	産業経済課商工観光グループ	150千円	(80千円) ○

(2) 都市計画の推進

51,132千円

(39,766千円) ○

都市公園の長寿命化計画に基づき、子どもたちが安全で安心して遊ぶことができる、市街地街区公園の再整備を図るとともに、上川公園の再整備計画についても進めてまいります。

●東2丁目通エレベーター管理事業

建設水道課建設管理グループ

4,160千円

(2,710千円) ○

道道東2丁目通の陸橋化に伴い整備されたエレベーターの維持管理経費です。

財源内訳	
町の一般財源	4,160千円

●公園管理経費

建設水道課技術グループ

11,194千円

(13,426千円) ▲

各街区公園の管理業務委託料などの維持管理経費です。ことしは、公園施設長寿命化計画の策定も行います

財源内訳	
町の一般財源	11,194千円



●上川町公園施設改築事業

建設水道課建設管理グループ

34,000千円

(0千円) ☆

町内の各公園の整備を行う事業です。今年度は旭町、東町、栄町の改修工事等を行います。

財源内訳	
国からの補助金	17,000千円
町の借入金	15,300千円
町の一般財源	1,700千円

●その他都市計画整備事業

都市計画図作成事業	建設水道課技術グループ	0千円	(324千円)	▼
南2条線植栽事業	建設水道課技術グループ	0千円	(220千円)	▼
新町公園整備事業	建設水道課技術グループ	0千円	(486千円)	▼
土地区画整理事業	建設水道課建設管理グループ	390千円	(385千円)	○
土地区画整理事業換地処分事業	建設水道課建設管理グループ	88千円	(215千円)	▲
上川町公園現況測量事業	建設水道課建設管理グループ	1,300千円	(0千円)	☆
旭町公園整備事業	建設水道課技術グループ	0千円	(22,000千円)	▼

(3) 道路環境の整備と充実

277,618千円 (258,031千円) ○

北1条線及び東8丁目線については、引き続き道路改良舗装工事を進めてまいります。また、高原温泉道路については、危険個所の解消を図るため、実施設計及び道路改良工事を実施してまいります。

橋梁については、長寿命化計画に基づき、大雪跨線橋及び上川橋の調査設計及び補修工事を実施してまいります。

●町道除雪業務経費

建設水道課技術グループ 74,471千円 (71,538千円) ○

町道の除雪に係る臨時職員賃金や除雪業務委託料などの経費です。

財源内訳	
町の一般財源	74,471千円

●道路橋梁維持管理経費

建設水道課技術グループ 29,934千円 (28,989千円) ○

道路など維持管理に係る臨時職員賃金や道路排水清掃業務委託料など町道の維持管理をするための経費です。

財源内訳	
道路の使用料など	8,235千円
町の一般財源	21,699千円

●道路整備事業

建設水道課技術グループ 10,400千円 (11,516千円) ▲

町道の道路改良等を行う事業です。ことしは次の事業カ所の工事を予定しています。

- ◎東雲28線軽舗装工事 ◎越路35線路肩補修工事
- ◎菊水6線、菊水7線軽舗装工事

財源内訳	
町の一般財源	10,400千円

●緊急整備事業

建設水道課技術グループ 6,000千円 (4,000千円) ○

町道の破損等の緊急に整備を要する場合の工事費です。

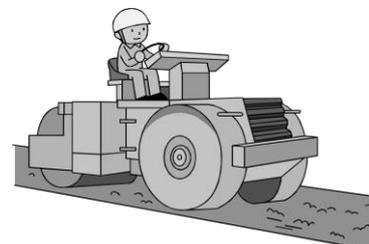
財源内訳	
町の一般財源	6,000千円

●北1条線道路改良事業

建設水道課技術グループ 57,000千円 (32,000千円) ○

北1条線は小学校や保育所への通学路等として、また診療所への通院用の道路として多くの幼児や児童、高齢者の通行がある道路です。安全で快適に通行できる道路へと改良を行う事業です。ことしは、改良舗装工事208mを行います。

財源内訳	
国からの補助金	35,100千円
町の借入金	21,900千円



●高原温泉道路災害防除事業

建設水道課建設管理グループ

43,000千円

(0千円) ☆

本町の主要な観光地である高原温泉へ多くの観光客や登山客を運ぶ路線であるが、急峻な沢沿いのため、再三洗掘を受けている現状にあるため、路線維持のための改良を行う事業です。

財源内訳	
国からの補助金	27,300千円
町の借入金	14,700千円
町の一般財源	1,000千円

●東8丁目線道路改良工事

建設水道課技術グループ

4,000千円

(5,000千円) ▲

東町の中央墓地に通じる道路の、狭隘で車両の交差が困難なことから拡幅を行うものです。

財源内訳	
町の一般財源	4,000千円

●道路台帳・地籍図等事業

建設水道課建設管理グループ

2,200千円

(1,827千円) ○

道路台帳の修正業務、土地基本台帳の地図データの修正業務などの委託を行う事業です。

財源内訳	
道路の使用料など	1,496千円
町の一般財源	704千円

●橋梁長寿命化事業

建設水道課建設管理グループ

45,200千円

(40,000千円) ○

橋梁の適切な補修を行うことにより、橋梁の長寿命化とコストの縮減を図り、将来にわたり安全・安心な道路網を確保するための事業です。

財源内訳	
国からの補助金	29,380千円
町の借入金	15,800千円
町の一般財源	20千円

●道路ストック総点検事業

建設水道課建設管理グループ

2,700千円

(2,000千円) ○

橋梁長寿命化事業による橋梁の整備と一体になって点検・維持補修を行い、落下、倒壊などによる第三者被害の防止を図る事業です。

財源内訳	
道路の使用料など	1,755千円
町の一般財源	945千円

●その他道路環境整備事業

土木総務管理経費	建設水道課建設管理グループ	2,713千円	(3,838千円) ▲
旭町地内(国有地)道路改良事業	建設水道課建設管理グループ	0千円	(823千円) ▼
南9条線道路改良事業	建設水道課技術グループ	0千円	(54,500千円) ▼
高原温泉道路改良事業	建設水道課技術グループ	0千円	(2,000千円) ▼

(4) 公共交通の充実

3,058千円

(4,123千円) ▲

公共交通は、社会的弱者である子どもや高齢者にとっての移動にはなくてはならないものであることから、越路線デマンドバスを運行するとともに、不採算路線に対する支援をしております。

●町営バス運行経費

企画総務課総務グループ

3,058千円

(4,123千円) ▲

越路線の町営バスなどの運行に係る業務委託料などの経費です。

財源内訳	
越路線バス使用料	50千円
町の借入金	1,300千円
町の一般財源	1,708千円

(5) 情報通信の充実

1,615千円 (1,575千円)

インターネットをはじめとする情報通信技術は、急速に普及し広く利用されており、光回線網が整備され利用者の利便性が図られたことから、加入者の拡大に向けた取り組みに支援してまいります。

●層雲峡地区ブロードバンド整備事業

企画総務課企画グループ

1,615千円 (1,575千円) ○

平成21年度に整備をした層雲峡地区の高速通信設備の管理などを行う事業です。また、層雲峡地区の寮などの居住者を対象とした普及促進のための施設整備に対して、補助を行います。

財源内訳

ブロードバンド施設使用料	1,058千円
町の一般財源	557千円

※ ブロードバンドとは、光ファイバーやCATV(ケーブルテレビ)などの有線通信技術や、無線による加入者系データ通信サービス(FWA)などの無線通信技術を用いて通信速度が高速なインターネット接続サービスです。

(6) エネルギーの利用

1,713千円 (1,725千円)

白水沢地区の地熱発電開発については、引き続き調査研究を進めてまいります。

特に、温泉事業者、自然保護団体及び地域と共通認識にたつた情報共有と合意形成を図り、地熱開発の実現に向けて、国や関係機関に対して積極的な働きかけと協議を進めてまいります。

白水沢地熱活用調査事業

企画総務課企画グループ

1,713千円 (1,725千円) ▲

5. 郷土に誇りをもった心を育むまちづくり

435,360千円 (621,581千円) ▲

生涯を通じ人間性豊かな創造性に富んだ人づくりのため、住民の学習意欲の向上を図りつつ、家庭・地域・学校との連携や福祉・産業などの多様な分野が有機的に結びついた生涯学習体制の確立に努めてまいります。さらに、地域内外との交流の拡大や歴史・文化遺産の保護・活用などを通じ、ふるさとへの誇りと愛着を醸成するとともに、地域に根ざした生活・文化の創造を育み、情操豊かな地域文化の発展に努めてまいります。

(1) 学校教育の充実

215,758千円 (165,837千円) ○

「生きる力」の基本的な資質・能力は、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな身体」であり、それらをバランスよく育成することが重要であります。

学校をはじめ家庭や地域がそれぞれの役割を果たしながら、児童生徒の豊かな心や健やかな身体の育成に努めてまいります。

また、上川中学校のトイレ改修工事、給食センター改築に向けた基本設計を実施してまいります。

●小学校管理経費

教育委員会学校教育グループ

30,227千円 (28,911千円) ○

上川小学校の燃料費などの維持管理をする経費です。ことしは、インフルエンザ対策用に加湿器の備品購入などを行います。

財源内訳

ふるさと応援基金繰入金など	50千円
町の一般財源	30,177千円

●中学校管理経費

教育委員会学校教育グループ

64,604千円 (33,044千円) ○

上川中学校の燃料費などの維持管理経費です。ことしは、吹奏楽楽器、図書などの備品購入などを行います。

財源内訳

ふるさと応援基金繰入金など	100千円
国からの補助金	7,981千円
町の借入金	20,200千円
町の一般財源	36,323千円

●学校給食センター運営管理経費

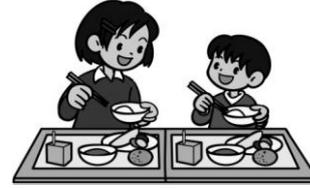
教育委員会学校教育グループ

50,159千円

(27,243千円) ○

学校給食を提供するための臨時職員の賃金や給食センターの燃料費などの管理経費です。また今年度より給食費の歳入及び賄材料費の歳出において公会計により処理することになったため、この経費を含みます。

財源内訳	
保護者負担分給食費	17,624千円
町の一般財源	32,535千円



●上川高等学校通学費等事業

教育委員会学校教育グループ

15,833千円

(17,005千円) ▲

上川高校に通学する生徒の保護者の負担軽減と間口確保のため、通学費などに対する補助を行う事業です。鉄道・バスの通学費は全額補助、下宿代は2分の1(上限月額3万円)を補助します。

財源内訳	
町の借入金	12,000千円
町の一般財源	3,833千円

●教員住宅建設事業

教育委員会学校教育グループ

8,119千円

(8,113千円) ○

平成21年度に建設をした2棟6戸の教員住宅の建設費を教職員共済組合に返済をする償還金です。(平成31年度まで)

財源内訳	
町の一般財源	8,119千円

●スクールバス運行経費

教育委員会学校教育グループ

7,059千円

(6,586千円) ○

小学校、中学校への通学用スクールバスの委託料などの運行経費です。

財源内訳	
町の一般財源	7,059千円

●外国語指導事業

教育委員会学校教育グループ

5,479千円

(4,553千円) ○

児童・生徒に生きた英語に接する機会を提供し、英語教育の充実と国際理解教育の推進を図るための外国語指導助手(ALT)の配置に係る経費です。

財源内訳	
町の一般財源	5,479千円

●学童保育センター管理経費

教育委員会学校教育グループ

6,447千円

(4,589千円) ○

共働き家庭などの小学生の毎日の放課後の生活を守る施設が学童保育センターです。子どもたちにとっての放課後の生活の場、学童保育センターの管理運営経費です。

財源内訳	
道からの補助金	2,159千円
町の一般財源	4,288千円

●要保護及準要保護児童生徒就学
援助事業

教育委員会学校教育グループ

3,942千円

(4,189千円) ▲

経済的な理由で就学が困難な状況にある児童や生徒の保護者に対し、学用品や学校給食費などの援助を行う事業です。

財源内訳	
国からの補助金	39千円
町の一般財源	3,903千円

●特別支援教育事業

教育委員会学校教育グループ

10,278千円

(10,643千円) ▲

障がいのある児童や生徒一人ひとりの持てる力を高めるため、生活や学習上のつまづきを改善・克服するための支援を行う事業です。

財源内訳	
国からの補助金	117千円
町の一般財源	10,161千円

●中高一貫教育推進委員会事業

教育委員会学校教育グループ

2,500千円

(2,500千円) ◇

中高一貫教育の推進を図るため、交付金を交付し、総合学習の推進や学力向上と資格取得の支援、生徒間交流と教員の資質の向上を図る事業です。

財源内訳	
町の借入金	2,500千円

●教育委員会経費

教育委員会学校教育グループ

1,571千円

(1,546千円) ○

教育の機会均等、教育水準の維持向上や地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう設置をされている教育委員会の委員報酬などの運営経費です。

財源内訳	
町の一般財源	1,571千円

●小中学生修学旅行費用援助事業

教育委員会学校教育グループ

1,044千円

(1,300千円) ▲

小・中学生の修学旅行費用に係る保護者の負担を軽減するための事業です

財源内訳	
町の一般財源	1,044千円

●その他学校教育事業

町教育研究会事業	教育委員会学校教育グループ	1,006千円	(900千円)	○
事務局管理経費	教育委員会学校教育グループ	4,093千円	(3,917千円)	○
私立幼稚園管理運営事業	教育委員会学校教育グループ	0千円	(800千円)	▼
中体連出場事業	教育委員会学校教育グループ	902千円	(915千円)	▲
総合的学習等事業	教育委員会学校教育グループ	390千円	(390千円)	◇
部活動通学費事業	教育委員会学校教育グループ	10千円	(51千円)	▲
生徒指導推進協議会事業	教育委員会学校教育グループ	221千円	(206千円)	○
上川高等学校教育振興対策協議会事業	教育委員会学校教育グループ	100千円	(100千円)	◇
中体連開催事業	教育委員会学校教育グループ	0千円	(80千円)	▼
上川高等学校教育振興事業	教育委員会学校教育グループ	80千円	(80千円)	◇
町へき地複式教育研究連盟事業	教育委員会学校教育グループ	75千円	(75千円)	◇
公立学校事業	教育委員会学校教育グループ	104千円	(104千円)	◇
義務教育振興管理経費	教育委員会学校教育グループ	1,474千円	(1,627千円)	▲
層雲峡小学校廃止に伴う交通費補助事業	教育委員会学校教育グループ	41千円	(0千円)	☆
幼稚園就園奨励事業	教育委員会学校教育グループ	0千円	(6,370千円)	▼



(2) 社会教育の推進

135,549千円 (50,874千円) ○

第8次上川町社会教育中期振興計画の「つくろうみんなでいきいきライフ」をスローガンに、町民がいつでも自由に学習機会の選択ができ、「心の豊かさ」や「生きがい」ができるよう、社会教育事業や文化活動の推進を図ってまいります。

また、「旧大雪山トア」跡に郷土資料館移転整備工事を実施してまいります。

●かみんぐホール管理経費

教育委員会社会教育グループ

30,257千円

(27,459千円) ○

かみんぐホールの燃料費や休日や夜間の警備業務委託料などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
使用料など	975千円
町の一般財源	29,282千円

●図書管理経費

教育委員会社会教育グループ

5,220千円

(5,144千円) ○

生涯学習の拠点施設としての図書室の運営に係る経費です。

財源内訳	
宝くじ交付金	1,616千円
町の一般財源	3,604千円

※ 宝くじ交付金は、オータムジャンボ宝くじの収益金を全国の市町村に対し、国際交流、芸術・文化の振興や少子高齢化対策など事業を推進するために交付されているものです。

●文化鑑賞等事業

教育委員会社会教育グループ

1,350千円

(1,850千円) ▲

芸術文化に接する機会を設け、創造性や感性、鑑賞マナーを高め、芸術と文化の振興を図る文化鑑賞事業を進めるため、交付金を交付する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	1,350千円

●公民館管理経費

教育委員会社会教育グループ

1,020千円

(984千円) ○

学級や各講座などの開催、生涯学習相談などを通して、身近に参加でき、学べる機会をつくり、一緒に仲間づくりや地域づくりをする公民館の運営に係る経費です。

財源内訳	
町の一般財源	1,020千円



●文化講演事業

教育委員会社会教育グループ

1,350千円

(2,000千円) ▲

各分野の第一線で活躍している著名人などの講演を通じて、町民の豊かな知性と感性の涵養するため文化講演会を開催する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	1,350千円

●郷土資料室維持管理経費

教育委員会社会教育グループ

90,329千円

(7,506千円) ○

郷土資料室の維持管理経費です。老朽化に伴い旧大雪山トアに移転するための整備工事を含みます。

財源内訳	
町の借入金	86,700千円
町の一般財源	3,629千円

●その他社会教育事業

図書購入事業	教育委員会社会教育グループ	650千円	(600千円)	○
町民文化祭事業	教育委員会社会教育グループ	400千円	(500千円)	▲
文化協会事業	教育委員会社会教育グループ	342千円	(342千円)	◇
成人のつどい事業	教育委員会社会教育グループ	400千円	(400千円)	◇
上川町子ども会育成連絡協議会事業	教育委員会社会教育グループ	150千円	(150千円)	◇
文化振興事業	教育委員会社会教育グループ	70千円	(70千円)	◇
コミュニティスクール運営事業	教育委員会社会教育グループ	67千円	(67千円)	◇
上川町生活学校運営事業	教育委員会社会教育グループ	25千円	(25千円)	◇
家庭教育学級運営事業	教育委員会社会教育グループ	20千円	(20千円)	◇
社会教育総務費管理経費	教育委員会社会教育グループ	3,726千円	(3,584千円)	○
文化振興管理経費	教育委員会社会教育グループ	173千円	(173千円)	◇

(3) 社会体育の推進 84,053千円 (404,870千円) ▲

スポーツを通して健やかで豊かな生活を営むために、様々な機会と場所において、各々の適性や健康状態に応じたスポーツを行うことができる環境を整備してまいります。
また、栄町パークゴルフ場増設工事を実施してまいります。

●総合体育館維持管理経費 教育委員会社会教育グループ 13,345千円 (2,280千円) ○

総合体育館の維持管理経費です。耐震化工事が終わり4月から利用可能となります。

財源内訳	
総合体育館使用料など	375千円
町の一般財源	12,970千円



●栄町パークゴルフ場維持管理経費 教育委員会社会教育グループ 45,072千円 (5,472千円) ○

栄町パークゴルフ場の維持管理を行う経費です。今年度増設するコースの工事費を含みます。

財源内訳	
町の借入金	42,100千円
町の一般財源	2,972千円

●水泳プール維持管理経費 教育委員会社会教育グループ 5,393千円 (5,376千円) ○

水泳プールの燃料費や管理業務委託料などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
水泳プール使用料	24千円
町の一般財源	5,369千円

●中山スキー場維持管理経費 教育委員会社会教育グループ 7,114千円 (4,038千円) ○

中山スキー場の管理業務委託料などの維持管理を行う経費です。休憩所改修に伴う実施設計業務を含みます。

財源内訳	
町の一般財源	2,180千円
町の一般財源	4,934千円



●町営球場維持管理経費 教育委員会社会教育グループ 2,365千円 (1,482千円) ○

栄町の町営球場の芝刈業務委託料などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
町の一般財源	2,365千円

●スケートリンク整備事業

教育委員会社会教育グループ

1,350千円

(1,271千円) ○

総合グラウンドに設置するスケートリンク場を整備するための交付金事業です。

財源内訳	
町の一般財源	1,350千円

●その他社会体育事業

スケート連盟50周年記念事業	教育委員会社会教育グループ	250千円	(0千円)	☆
総合体育館耐震化事業	教育委員会社会教育グループ	0千円	(376,846千円)	▼
体育館各種行事事業	教育委員会社会教育グループ	1,030千円	(881千円)	○
体育協会運営事業	教育委員会社会教育グループ	545千円	(545千円)	◇
クロスカントリー維持管理経費	教育委員会社会教育グループ	3,346千円	(1,989千円)	○
チビッ子少年団活動事業	教育委員会社会教育グループ	470千円	(466千円)	○
スポーツ少年団活動事業	教育委員会社会教育グループ	158千円	(181千円)	▲
上川町近隣町村少年野球大会参加事業	教育委員会社会教育グループ	30千円	(30千円)	◇
中学校新人野球大会事業	教育委員会社会教育グループ	30千円	(30千円)	◇
全道小学生陸上競技大会派遣事業	教育委員会社会教育グループ	240千円	(219千円)	○
保健体育総務管理経費	教育委員会社会教育グループ	2,118千円	(2,092千円)	○
保健体育施設管理経費	教育委員会社会教育グループ	1,197千円	(1,672千円)	▲

6. みんなで創る協働のまちづくり

796,406千円

(788,697千円)

○

まちづくりの主角は、そこに暮らす住民であり、住民の意思や意欲など、一人ひとりの持つ活力をいかし、安心して暮らせるコミュニティの形成に向け、多様な主体が連携し、地域ニーズへの対応や身近な課題を解決する地域の取り組みを促進してまいります。

また、住民活動に対応した柔軟できめ細かいサービスの提供を図り、同時に、将来を見通した持続可能な自治体運営を構築してまいります。

さらに、他市町村との広域連携を推進し、行財政基盤の充実や住民の利便性向上に努め、情報を共有しながら、効果的なまちづくりをめざすため、住民とともに取り組む協働のまちづくりを進めてまいります。

(1) 協働のまちづくり

6,583千円

(7,057千円)

▲

住民と行政の協働のまちづくりを推進するため、町広報誌やホームページの充実を図るとともに、ふれあいトークをはじめとする住民が参画できる機会を拡充し、住民と行政がより密接につながるまちづくりを推進してまいります。

また、「おもてなし」の実践に向けた取り組みを計画的に進めてまいります。

●文書広報関係経費

企画総務課企画グループ

3,963千円

(4,057千円)

▲

広報「かみかわ」の作成と発行などに係る経費です。

財源内訳	
町史売払収入	1千円
町の一般財源	3,962千円

●おもてなし推進事業

企画総務課企画グループ

2,620千円

(3,000千円)

▲

町民および町内商工事業者を対象に、来町者へ「おもてなしの心」をもって対応することの意識を高めるため、研修会開催など普及・啓発を目的とする事業です。

財源内訳	
町の一般財源	2,620千円



(2) コミュニティ活動の推進

6,928千円 (6,824千円) ○

自治体を取り巻く状況は、高度情報化の進展、少子高齢化の進行など社会情勢が大きく変化しているなかで、地方分権、行財政改革などにより、公共のニーズの複雑・多様化に対応する公共サービスの提供が求められており、行政とともに地域の問題解決に取り組むコミュニティづくりが必要になっております。

行政が地域活動を支援し、地域が創意・工夫・実践する自立コミュニティ活動を推進できるよう連携を強化してまいります。

●上川町公区交付金事業 企画総務課総務グループ 2,400千円 (2,400千円) ◇

町行政事務の円滑な運営と町民の意志反映を図るための自治組織、公区の活動に対し交付金を交付する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	2,400千円

●マスコットキャラクター製作事業 企画総務課企画グループ 158千円 (1,034千円) ▲

上川町のオフィシャルマスコットキャラクター「かみっきー」の維持管理経費です。各種イベントできぐみやイラストカットを製作して、観光地としてのイメージアップにつなげていきます。

財源内訳	
町の一般財源	158千円

●コミュニティ助成事業 企画総務課企画グループ 2,500千円 (2,500千円) ◇

上川町郷土太鼓保存会が保有する太鼓の追加及び修理を行う事業です。

財源内訳	
コミュニティ事業助成金	2,500千円

●その他コミュニティ活動事業

花いっぱい会事業	企画総務課企画グループ	260千円	(280千円)	▲
上川町コミュニティ運動推進委員会事業	企画総務課企画グループ	110千円	(110千円)	◇
スマイルコンテスト事業	企画総務課企画グループ	500千円	(500千円)	◇
マスコットキャラクター情報発信事業	企画総務課企画グループ	1,000千円	(0千円)	☆

(3) 地域間・国際間交流の充実

9,047千円 (4,387千円) ○

ロッキーマウンテンハウス町との相互間交流を進めるとともに、ふるさと会との交流促進を図ってまいります。

また、定住自立圏形成協定に基づき、福祉事業や教育振興などを旭川市と連携し進めてまいります。

●その他地域間・国際間交流事業

姉妹友好交流(カナダ訪問)事業	企画総務課企画グループ	7,847千円	(2,587千円)	○
姉妹友好交流(カナダ来町)事業	教育委員会学校教育グループ	0千円	(250千円)	▼
上川町姉妹友好協会事業	企画総務課企画グループ	1,200千円	(1,550千円)	▲

(4) 適切な行政の推進

33,233千円 (24,763千円) ○

行財政基盤の強化や個性豊かな地域社会の実現をめざす視点で行政改革を推進し、地方分権社会の担い手にふさわしい人材の育成、組織づくりや機能強化など、住民の意向を反映した行政運営の改善、事務事業の効率化に努め、住民サービスの適正化を図ってまいります。

●情報管理経費 企画総務課総務グループ 33,217千円 (24,747千円) ○

電子計算機を利用した事務の合理化、庁舎内外の情報共有化や行政の効率化を図るための総合行政ネットワークシステム(役場等庁内ネットワークシステム)や総合行政情報システム(住民基本台帳や町税などの管理システム)などの電算機器の管理や運営に関する経費です。

財源内訳	
国からの補助金	4,957千円
町の一般財源	28,260千円

●その他適正な行政推進事業

情報公開審査会・個人情報保護審査会経費	企画総務課総務グループ	16千円	(16千円) ◇
---------------------	-------------	------	----------

(5) 財政運営の健全化 740,615千円 (745,666千円) ▲

国が示す地方財政計画による動向を適切に把握するとともに、財政健全化法による4指標を堅持してまいります。

限られた財源のなかで、住民福祉の向上と持続可能な行政の推進に「最小の経費で最大の効果を挙げる」ことを意識し、財政健全化の取り組みを強化してまいります。

●長期債元金 企画総務課財政グループ 687,676千円 (678,672千円) ○

町が各事業の推進のため、借入をした借入金の元金の返済費用です。

財源内訳	
町営住宅使用料など	144,707千円
町の一般財源	542,969千円

●長期債利子 企画総務課財政グループ 51,992千円 (65,575千円) ▲

町が各事業の推進のため、借入をした借入金の利子の返済費用です。

財源内訳	
減債基金繰入金	3,679千円
町の一般財源	48,313千円



●その他財政健全化事業

財政健全化償還金	企画総務課財政グループ	84千円	(76千円) ○
減債基金費	企画総務課財政グループ	93千円	(590千円) ▲
公共施設整備基金費	企画総務課財政グループ	500千円	(500千円) ◇
一時借入金利子	企画総務課財政グループ	253千円	(233千円) ○
財政調整基金費	企画総務課財政グループ	4千円	(6千円) ▲
地域福祉基金費	企画総務課財政グループ	5千円	(6千円) ▲
奨学金等貸付基金費	企画総務課財政グループ	5千円	(5千円) ◇
ふるさと創生基金費	企画総務課財政グループ	2千円	(2千円) ◇
森林環境整備基金費	企画総務課財政グループ	1千円	(1千円) ◇

7. その他管理経費等 1,174,433千円 (1,228,598千円) ▲

(1) その他管理経費等 1,174,433千円 (1,228,598千円) ▲

●職員給与費 企画総務課総務グループ 907,946千円 (919,971千円) ▲

町長をはじめとする町の職員の給料や手当などを支給する経費です。

財源内訳	
国からの委託金等	9,199千円
道からの委託金等	7,492千円
公営住宅使用料など	10,236千円
町の一般財源	881,019千円

●議会管理経費 議会事務局 53,948千円 (51,057千円) ○

町議会議員の報酬や議会運営に係る経費です。

財源内訳	
町の一般財源	53,948千円

●行政管理経費

企画総務課総務グループ

42,597千円

(36,474千円) ○

行政の執行にあたり各事業で計上している以外の行政全般に係る管理経費です。ことしも、職員の将来の資質向上のため、まちづくり研修費を計上しています。

財源内訳	
国からの補助金	18千円
コピー機などの印刷代	4,518千円
町の一般財源	38,061千円

●財産管理関係経費

企画総務課財政グループ

19,600千円

(50,457千円) ▲

町が所有する建物の修繕料や保険料、公共用に必要な土地の使用料などの管理経費です。

財源内訳	
建物・土地貸付料、公共施設整備基金	16,360千円
町の一般財源	3,240千円

●車両管理関係経費

企画総務課総務グループ

41,832千円

(32,840千円) ○

町が所有する公用車の燃料費などの管理経費です。

財源内訳	
町の一般財源	41,832千円

●庁舎管理経費

企画総務課総務グループ

40,518千円

(71,799千円) ▲

役場庁舎の燃料費や夜間の警備委託などの維持管理を行う経費です。庁舎の老朽化は顕著ですが、中でも住民の方々にトイレの利用に大変不便をかけていることから、昨年に引き続きトイレの整備等を行います。

財源内訳	
公共施設整備基金繰入金など	21,005千円
町の一般財源	19,513千円

●町税関係管理経費

税務住民課税務グループ

12,374千円

(10,337千円) ○

町民税や固定資産税などの税金の課税や徴収を行う経費です。

財源内訳	
国からの交付金	864千円
所得証明などの手数料	2千円
町の一般財源	11,508千円

●戸籍住民基本台帳管理経費

税務住民課住民グループ

14,482千円

(11,390千円) ○

戸籍や住民基本台帳などの管理や各証明書などの発行を行う経費です。

財源内訳	
国からの交付金など	4,151千円
道からの交付金	64千円
住民票などの証明手数料	1,977千円
町の一般財源	8,290千円

●統計調査関係経費

企画総務課企画グループ

4,177千円

(1,517千円) ○

国の指定統計調査などを実施する経費です。

財源内訳	
道からの委託金	3,843千円
町の一般財源	334千円



●職員健康管理事業 企画総務課総務グループ 4,415千円 (3,870千円) ○

職員の健康診断などを行う経費です。

財源内訳	
町の一般財源	4,415千円

●監査委員経費 議会事務局 2,508千円 (2,708千円) ▲

町の監査委員の報酬をはじめとする監査委員の活動経費です。

財源内訳	
町の一般財源	2,508千円

●企画関係経費 企画総務課企画グループ 778千円 (1,328千円) ▲

町行政の総合的な企画調整を行う業務の経費です。

財源内訳	
道からの補助金	50千円
町の一般財源	728千円

●上川町映像記録事業 企画総務課財政グループ 648千円 (0千円) ☆

昨年作成したDVDの情報を更新していくため、毎年記録を取る事業です。

財源内訳	
町の一般財源	648千円

●政務活動交付金事業 議会事務局 1,320千円 (1,320千円) ◇

議会議員の調査研究活動等の費用に対して交付金を交付する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	1,320千円

●その他管理経費等

町長交際費	企画総務課総務グループ	1,000千円	(1,000千円)	◇
会計管理経費	出納室	2,219千円	(2,219千円)	◇
農業所得事務事業	税務住民課税務グループ	658千円	(658千円)	◇
上川町ふるさと応援寄付事業	企画総務課企画グループ	670千円	(128千円)	○
諸費経費	企画総務課総務グループ	512千円	(535千円)	▲
町税過年度還付金	税務住民課税務グループ	1,000千円	(1,000千円)	◇
選挙管理委員会経費	企画総務課総務グループ	483千円	(489千円)	▲
葬祭金	企画総務課総務グループ	550千円	(450千円)	○
過年度過誤納還付金	企画総務課総務グループ	500千円	(500千円)	◇
議長交際費	議会事務局	180千円	(180千円)	◇
原水爆禁止等世界大会参加事業	企画総務課総務グループ	200千円	(200千円)	◇
自衛隊協力交付金事業	企画総務課総務グループ	60千円	(60千円)	◇
知事・道議会議員選挙関係経費	企画総務課総務グループ	3,436千円	(2,686千円)	○
町長・町議会議員選挙関係経費	企画総務課総務グループ	479千円	(0千円)	☆
予備費	企画総務課財政グループ	10,000千円	(10,000千円)	◇
公共施設等総合管理計画事業	企画総務課総務グループ	5,343千円	(0千円)	☆
農業委員会委員選挙関係経費	企画総務課総務グループ	0千円	(1,453千円)	▼
町政要覧作成事業	企画総務課企画グループ	0千円	(2,911千円)	▼
上川町120年記念事業	企画総務課企画グループ	0千円	(3,931千円)	▼
開基120年映像記録保存事業	企画総務課企画グループ	0千円	(5,130千円)	▼

合 計 4,878,000千円 (5,271,000千円)